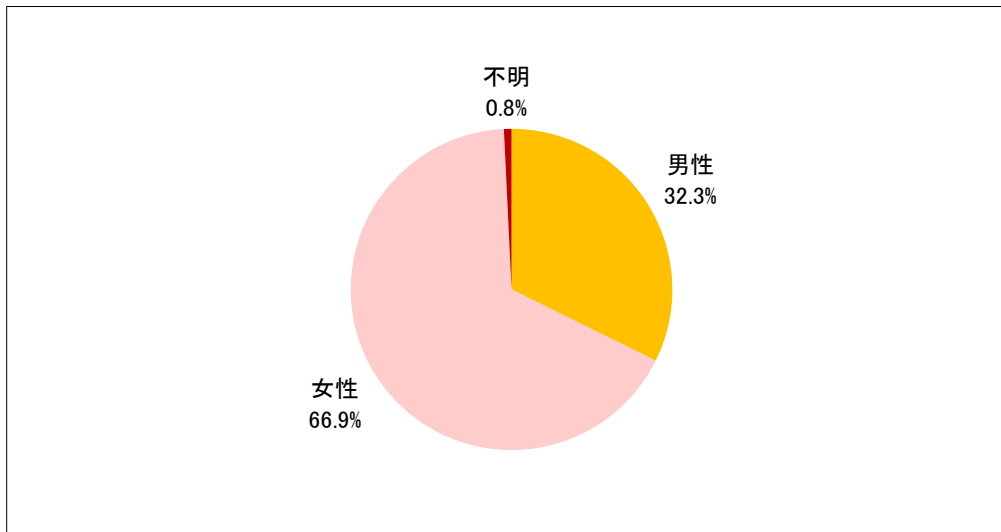


## 結婚・出産・子育てに関するアンケート調査結果

調査目的	結婚、出産、子育てを控えた市民、もしくは近年経験した市民を対象として、結婚や出産に対する価値観や子育て環境による評価などの把握
調査対象	稲沢市に住民登録のある16～39歳の方
主な調査項目	<input type="checkbox"/> 定住や居住環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稲沢市に住むことになったきっかけ</li> <li>・ 稲沢市の住みやすさと理由</li> <li>・ 今後の定住意向</li> <li>・ 稲沢市より住みやすそうと思う近隣のまちと選定理由</li> <li>・ 将来、持ち家を持つ際に居住を希望する候補先</li> <li>・ 稲沢市に定住するための条件・不安</li> </ul> <input type="checkbox"/> 結婚・出産・子育て <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既婚・未婚の状況と理由</li> <li>・ 結婚したい年齢</li> <li>・ 理想的な子ども数と現在の子ども数</li> <li>・ 子育て環境の評価と期待</li> </ul> <input type="checkbox"/> 仕事と家庭の両立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職業、職種、勤務先</li> <li>・ 就活中に重視した点</li> <li>・ 子どもを持ったときの理想的な働き方</li> </ul>
調査方法	郵送による配布・回収
対象者の抽出方法	住民基本台帳より1,000人を無作為抽出
調査期間	2015年8月27日（発送）～9月11日（回収期限）
回答者数	263人（有効回答率26.3%）
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設問文末の記号について、「SA」は単回答、「MA」は複数回答、「NA」は数値記述、「FA」は自由記述となる。</li> <li>・ グラフ下の「n=〇」は該当する回答数を示す。</li> <li>・ 回答の集計は、選択肢の回答数を総回答数で除したものを%表記しているが、小数第2位を四捨五入しているため、各回答の合計が100%とならない場合がある。</li> <li>・ 問4～9及び問11～13については、別途稲沢市に住民登録のある16歳以上の方3,000人を対象として「将来のまちづくりに関するアンケート調査」を同時期に実施（有効回収数1,096人）しており、その結果との合算値を表示している。</li> </ul>

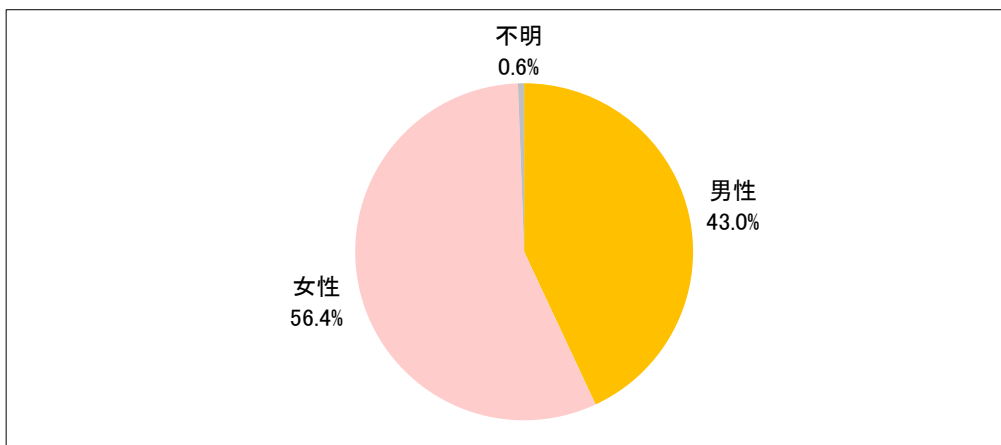
## あなたの属性について

問1 あなたの性別を選んでください。(1つに○印)



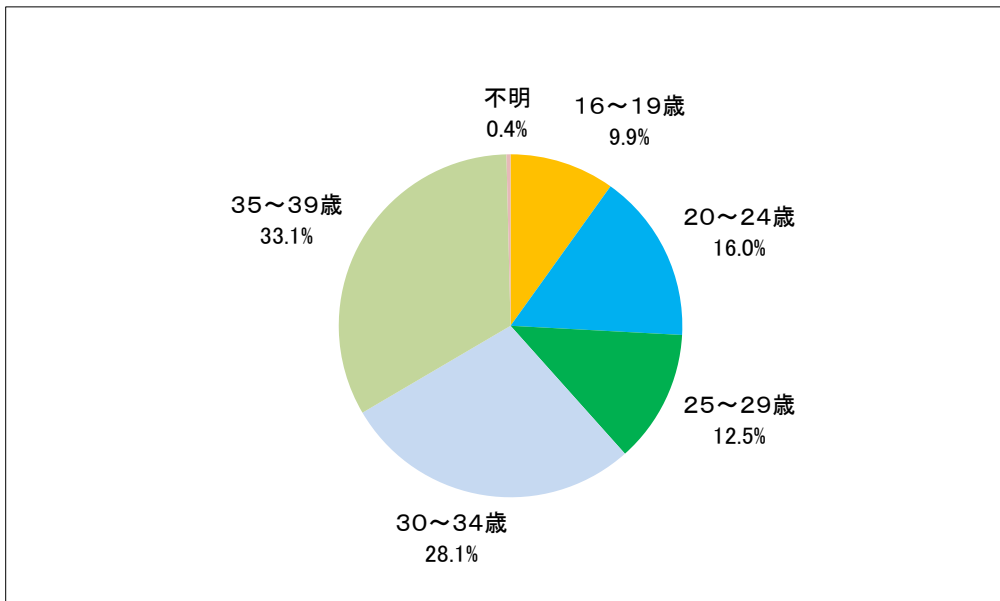
(n=263)

(参考) 将来のまちづくりに関するアンケート調査との合算値



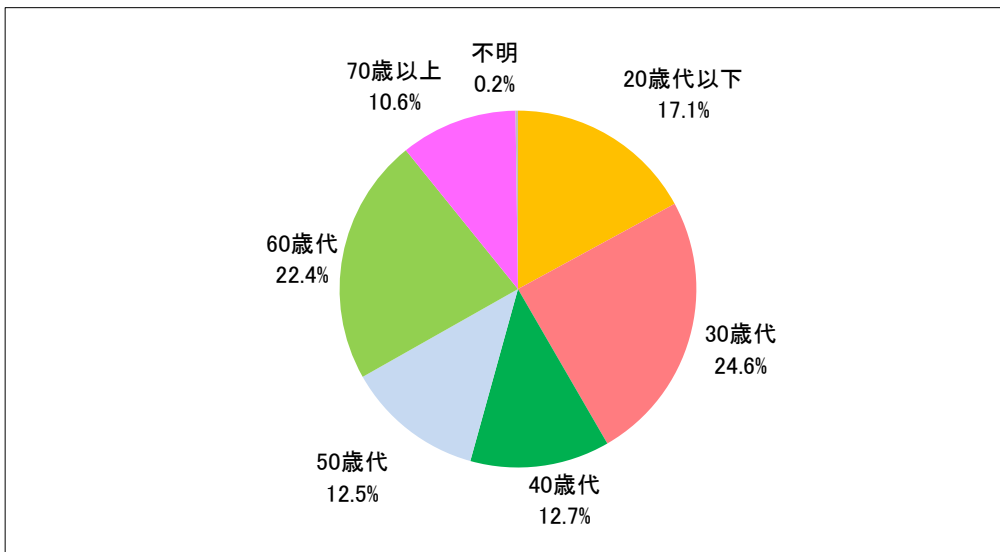
(n=1,359)

問2 あなたは何歳ですか。ご記入時の年齢を選んでください。(1つに○印)



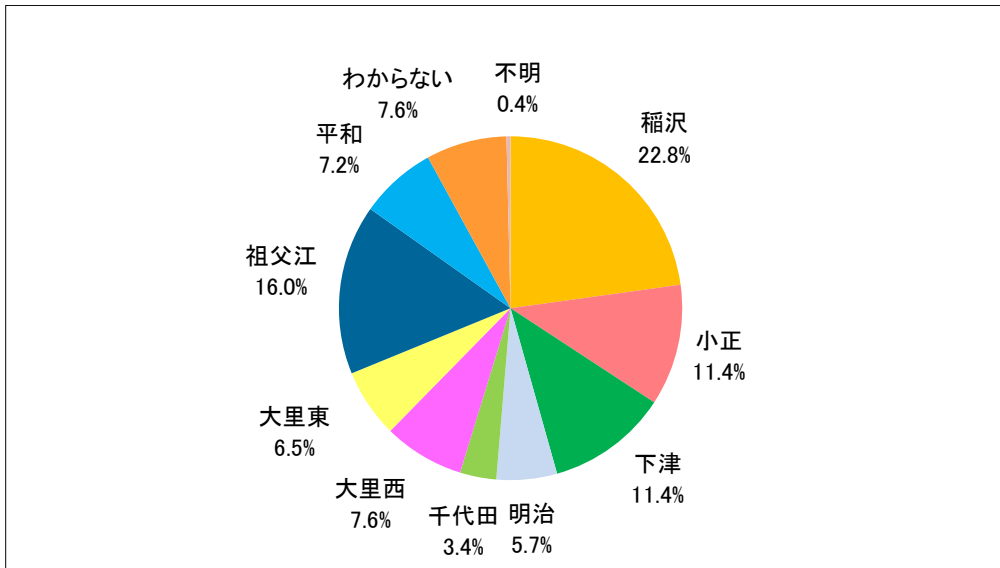
(n=263)

(参考) 将来のまちづくりに関するアンケート調査との合算値



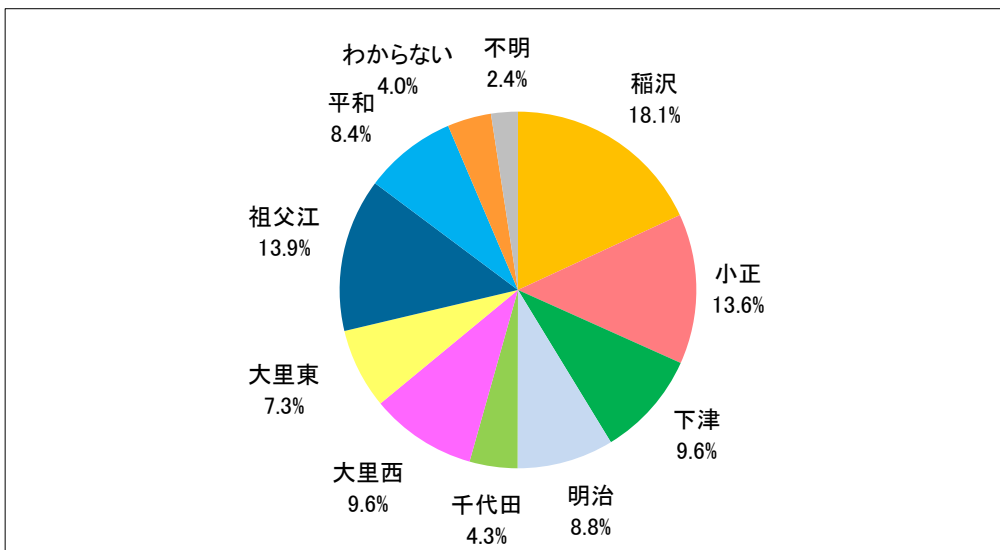
(n=1,359)

問3 あなたの居住する地区を選んでください。(1つに○印)



(n=263)

(参考) 将来のまちづくりに関するアンケート調査との合算値

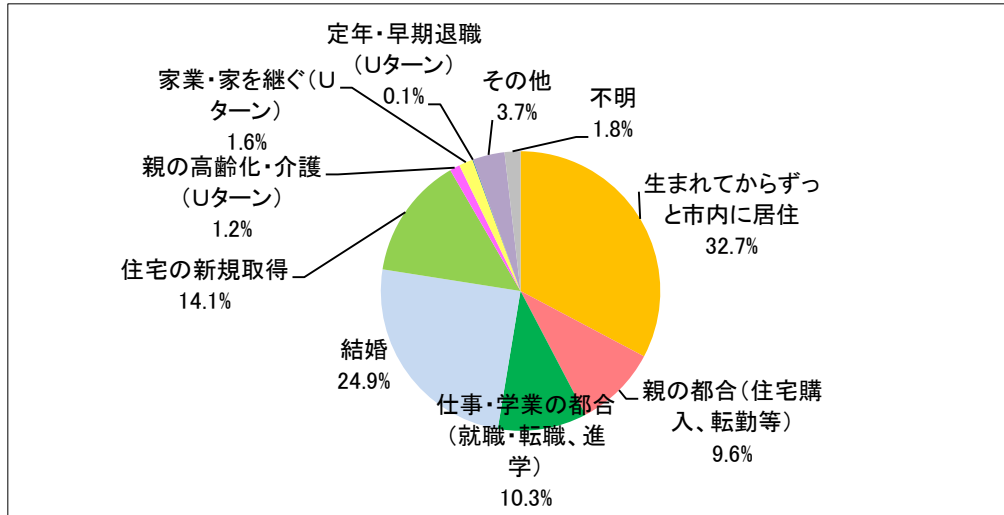


(n=1,359)

## 定住や居住環境について

### 問4 あなたが稲沢市に住むことになったきっかけは何ですか。(SA)

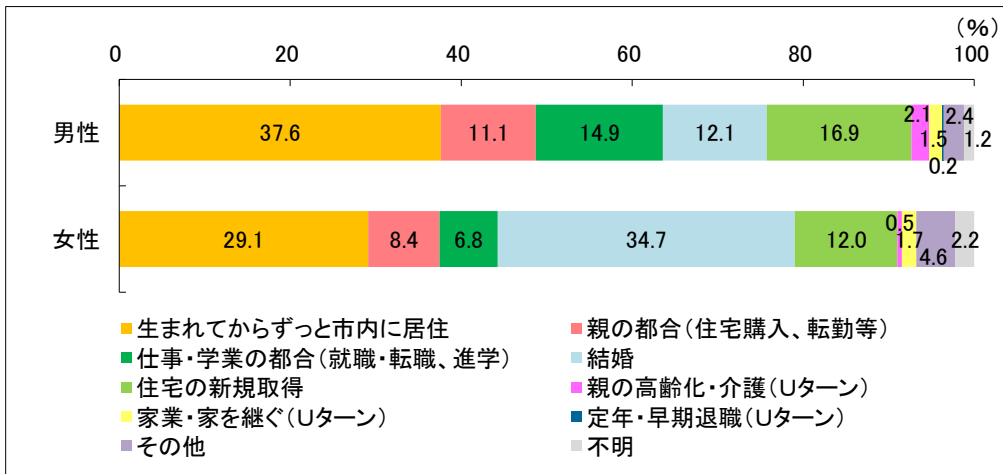
「生まれてからずっと市内(32.7%)」が最も高く、次いで「結婚(24.9%)」、「新規の住宅取得(14.1%)」となっている。



(n=1,359)

#### 【クロス集計結果(性別)】

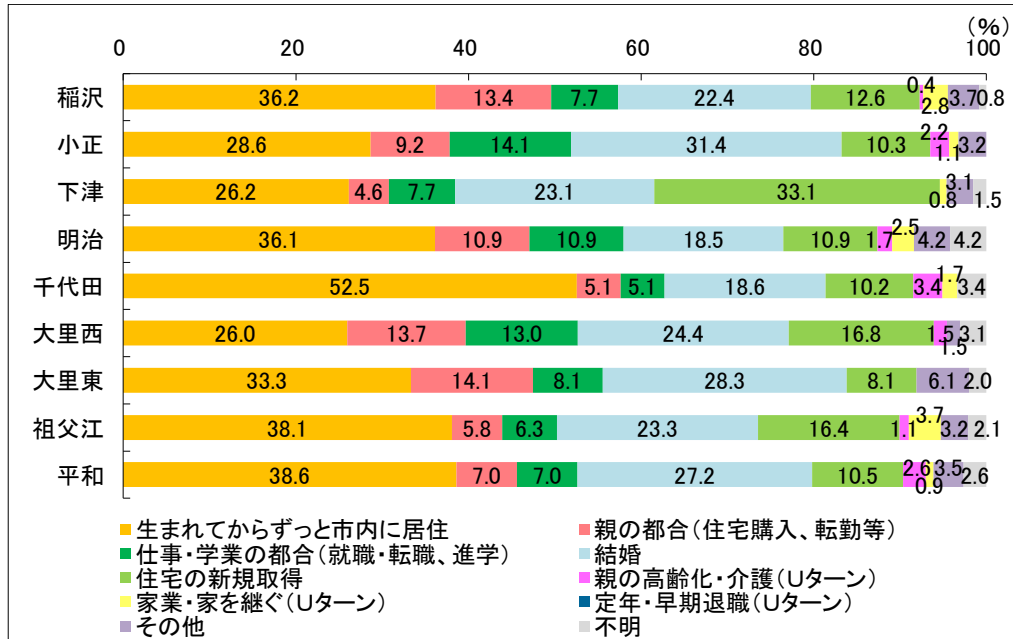
男女別に回答結果を見ると、男性では「生まれてからずっと市内に居住(37.6%)」の割合が最も高く、次いで「住宅の新規取得(16.9%)」、「仕事・学業の都合(就職・転職、進学)(14.9%)」となっている。一方、女性では「結婚(34.7%)」の割合が最も高く、男性を約20ポイント上回っている。次いで「生まれてからずっと市内に居住(29.1%)」、「住宅の新規取得(12.0%)」となっており、男女で居住要因は異なっている。



(n : 男性=585、女性=766)

【クロス集計結果（地区別）】

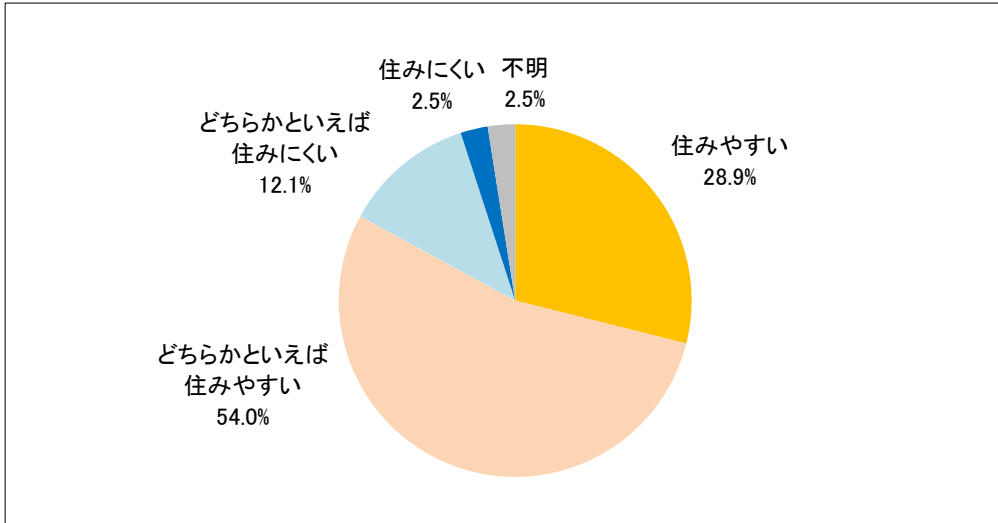
地区別に回答結果を見ると、地区によって異なる傾向が見られる。小正・下津地区を除き、各地区とも「生まれてからずっと市内に居住」している割合が最も高く、特に千代田地区では 52.5%と突出している。小正地区では「結婚（31.4%）」の割合が、また下津地区では「住宅の新規取得（33.1%）」の割合が最も高い。なお、千代田地区を除き、各地区とも「生まれてからずっと市内に居住」している割合は4割に満たず、転入者が多いことがうかがえる。



(n : 稲沢=246、小正=185、下津=130、明治=119、千代田=59、大里西=131、大里東=99、祖父江=189、平和=114)

**問5 稲沢市の住みやすさについては、いかがですか。(SA)**

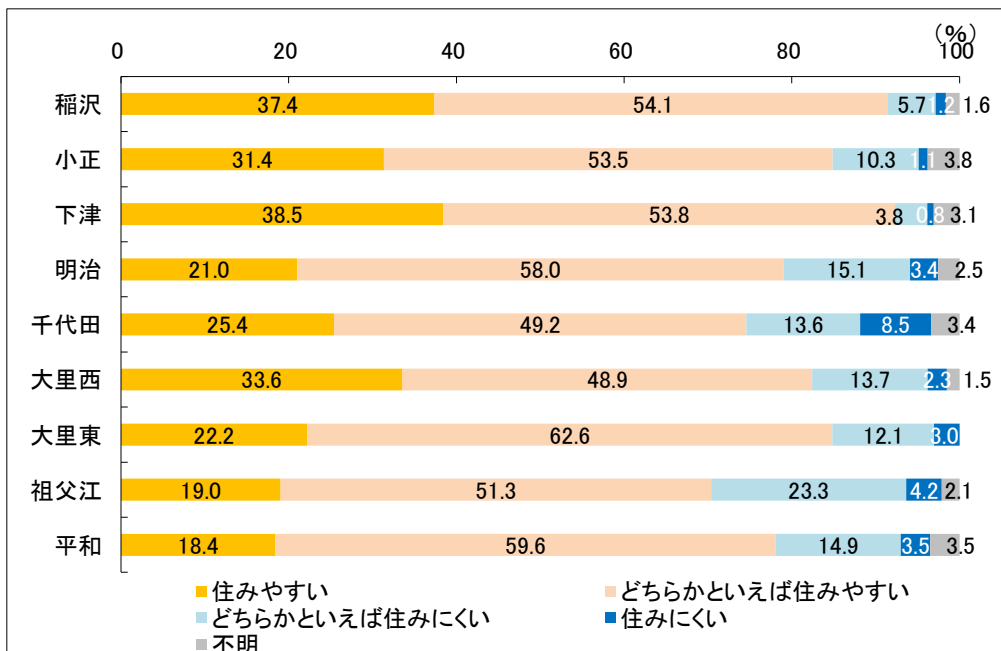
「住みやすい (28.9%)」、「どちらかといえば住みやすい (54.0%)」の合計が8割超となっており、評価は高い。



(n=1,359)

**【クロス集計結果 (地区別)】**

地区別に回答結果を見ると、稲沢・下津地区では「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計が9割超となっている。一方、祖父江・千代田地区では、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計がそれぞれ70.3%、74.6%と他地区に比べて低い傾向にある。

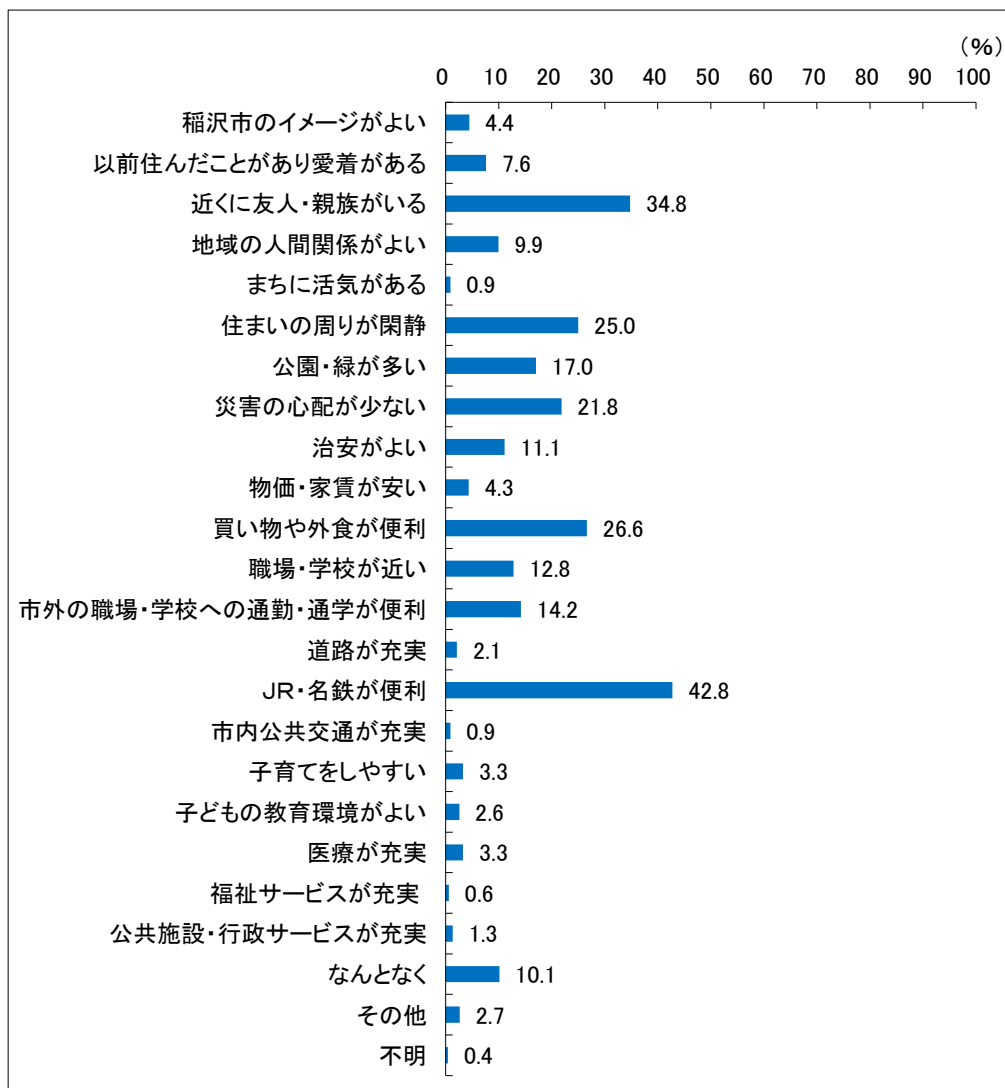


(n : 稲沢=246、小正=185、下津=130、明治=119、千代田=59、大里西=131、大里東=99、祖父江=189、平和=114)

(問5で「1 住みやすい」、「2 どちらかといえば住みやすい」を選択した方のみ)

### 問6 なぜ稲沢市を住みやすいと思いましたか。(MA: 3つまで)

稲沢市が住みやすい理由として「JR・名鉄が便利 (42.8%)」が最も高く、次いで「近くに友人・親族がいる (34.8%)」、「買い物や外食が便利 (26.6%)」、「住まいの周囲が閑静 (25.0%)」、「災害の心配が少ない (21.8%)」となっている。

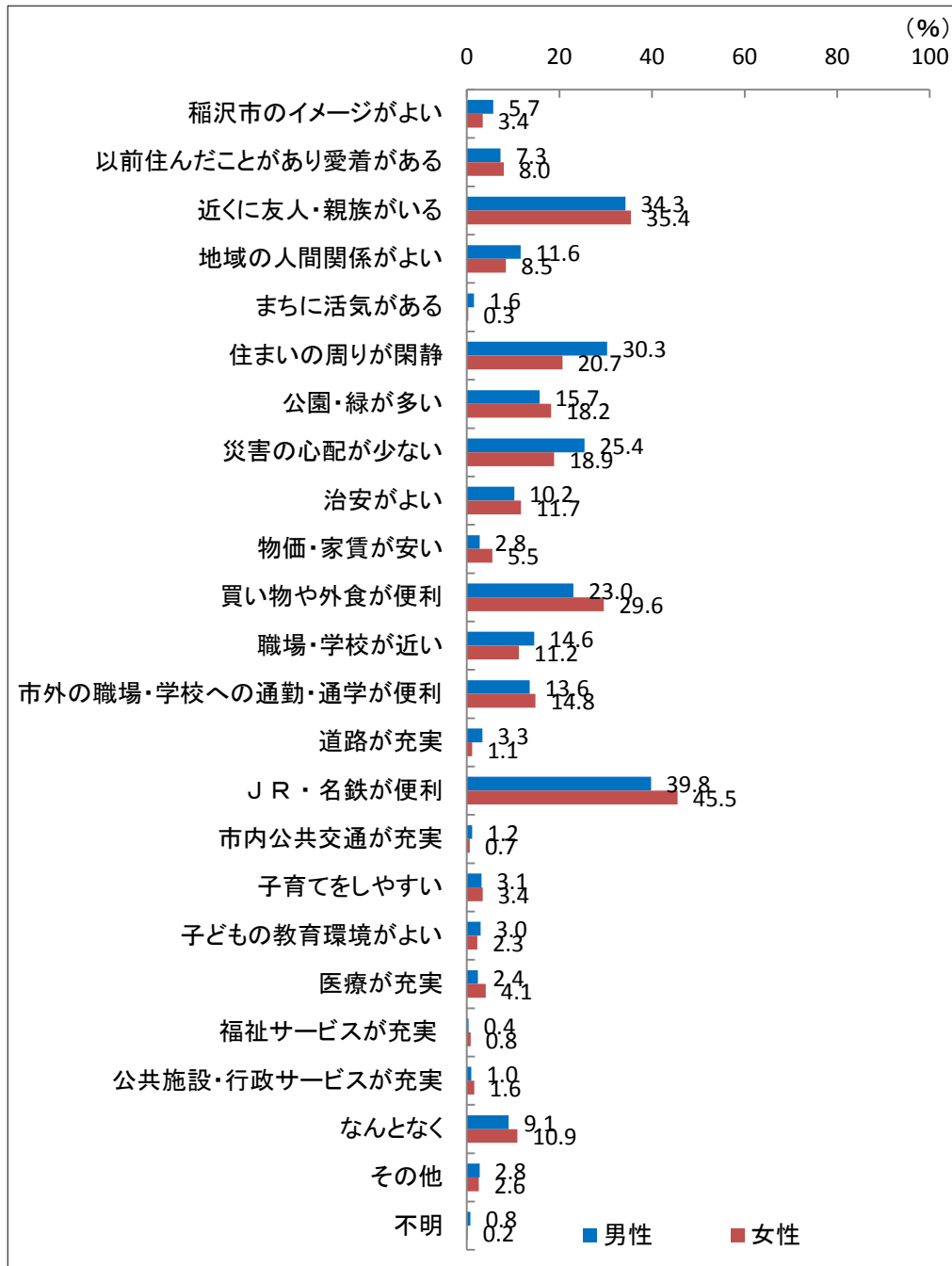


(n= 1,127)



【クロス集計結果（性別）】

男女別に「稲沢市が住みやすい」理由を見ると、男女とも「JR・名鉄が便利（男性：39.8%、女性：45.5%）」が最も高く、次いで「近くに友人・親族がいる（男性：34.3%、女性：35.4%）」となっている。一方、「住まいの周りが閑静（男性：30.3%、女性：20.7%）」では男性が約10ポイント上回っているものの、男女で大きな差が生じた項目はなく、性別による大きな差は見られない。



(n : 男性=508、女性=615)

【クロス集計結果（地区別）】

地区別に「稲沢市が住みやすい」理由を見ると、各地区とも「近くに友人・親戚がいる」の割合が高く、特に千代田・祖父江・平和地区での割合が4割超と高い。また、大型店の立地する稲沢・小正・下津・明治地区で「買い物や外食が便利」の占める割合が高く、稲沢駅、国府宮駅、大里駅へのアクセスの良い稲沢・小正・下津・大里西・大里東地区で「JR・名鉄が便利」の割合が高い。一方、千代田・祖父江・平和地区で「住まいの周りが閑静」の割合が、また、明治・千代田・祖父江地区で「災害の心配が少ない」の割合がそれぞれ高い。

	回答者数	稲沢市のイメージがよい	以前住んだことがあり愛着がある	近くに友人・親戚がいる	地域の間関係がよい	まちに活気がある	住まいの周りが閑静	公園・緑が多い	災害の心配が少ない
全体	1127	4.4	7.6	34.8	9.9	0.9	25.0	17.0	21.8
稲沢	225	5.3	8.4	28.0	7.1	0.9	17.8	20.4	19.1
小正	157	2.5	5.1	31.2	5.1	0.0	12.7	18.5	17.2
下津	120	1.7	3.3	36.7	6.7	3.3	22.5	15.8	12.5
明治	94	8.5	10.6	37.2	7.4	0.0	25.5	14.9	38.3
千代田	44	2.3	4.5	54.5	22.7	0.0	54.5	18.2	27.3
大里西	108	6.5	9.3	34.3	13.0	0.9	23.1	6.5	31.5
大里東	84	2.4	7.1	32.1	9.5	1.2	27.4	6.0	16.7
祖父江	133	3.8	12.0	45.1	15.8	0.8	40.6	23.3	24.8
平和	89	5.6	7.9	42.7	14.6	1.1	31.5	13.5	16.9

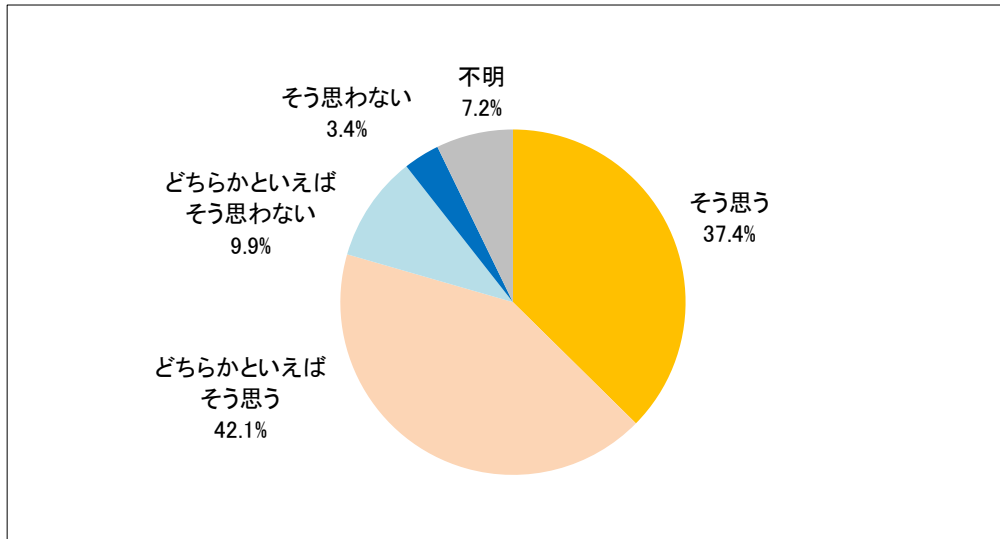
	治安がよい	物価・家賃が安い	買い物や外食が便利	市外の職場・学校への通勤・通学が便利	道路が充実	J R・名鉄が便利	市内公共交通が充実	職場・学校が近い
全体	11.1	4.3	26.6	14.2	2.1	42.8	0.9	12.8
稲沢	10.7	4.9	36.9	21.3	1.3	55.1	1.3	14.7
小正	7.6	7.0	31.8	20.4	2.5	73.2	2.5	10.8
下津	7.5	7.5	38.3	19.2	3.3	58.3	0.0	8.3
明治	12.8	2.1	29.8	6.4	4.3	13.8	2.1	16.0
千代田	6.8	0.0	9.1	6.8	0.0	4.5	0.0	13.6
大里西	13.0	3.7	15.7	13.0	0.0	39.8	0.9	16.7
大里東	13.1	2.4	21.4	26.2	0.0	60.7	0.0	13.1
祖父江	15.8	2.3	11.3	3.8	2.3	15.0	0.0	9.8
平和	11.2	2.2	16.9	2.2	5.6	12.4	0.0	12.4

	子育てをしやすい	子どもの教育環境がよい	医療が充実	福祉サービスが充実	公共施設・行政サービスが充実	なんとなく	その他	不明
全体	3.3	2.6	3.3	0.6	1.3	10.1	2.7	0.4
稲沢	3.6	1.3	2.2	0.9	1.3	9.8	1.3	0.4
小正	3.2	1.9	5.1	1.3	0.6	5.7	5.7	0.0
下津	5.0	0.8	0.0	0.0	0.0	6.7	1.7	0.8
明治	5.3	2.1	5.3	0.0	1.1	11.7	1.1	1.1
千代田	4.5	6.8	0.0	0.0	0.0	13.6	2.3	2.3
大里西	0.9	0.9	3.7	0.9	2.8	10.2	3.7	0.0
大里東	1.2	1.2	2.4	0.0	1.2	8.3	1.2	0.0
祖父江	3.0	6.0	6.8	1.5	3.0	9.8	0.8	0.8
平和	3.4	6.7	3.4	0.0	0.0	18.0	4.5	0.0

(n=1,127)

## 問7 今後も稲沢市に住み続けたいと思いますか。(SA)

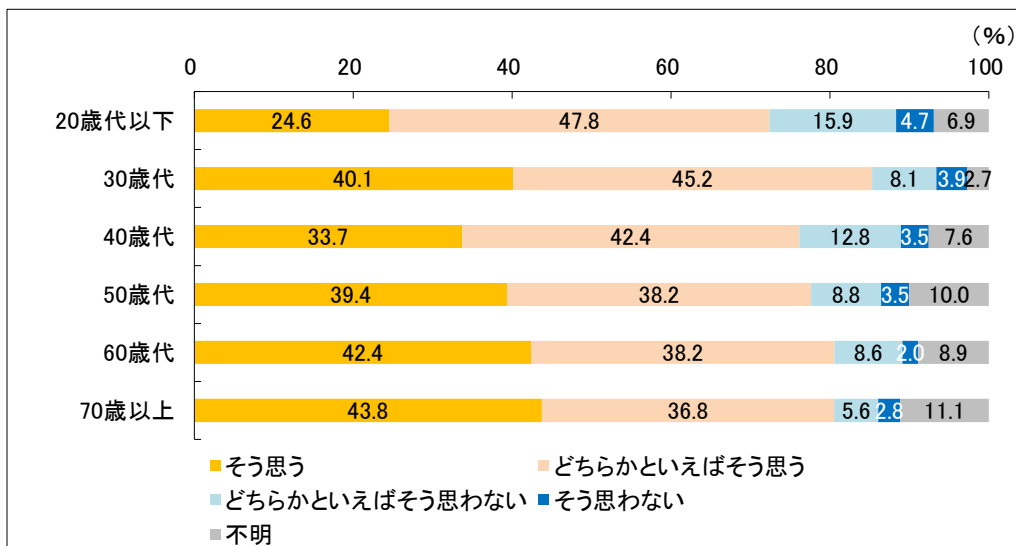
「そう思う (37.4%)」、「どちらかといえばそう思う (42.1%)」を合わせて約 8 割であり、肯定的な意見が大半を占める。



(n=1,359)

### 【クロス集計結果 (年齢別)】

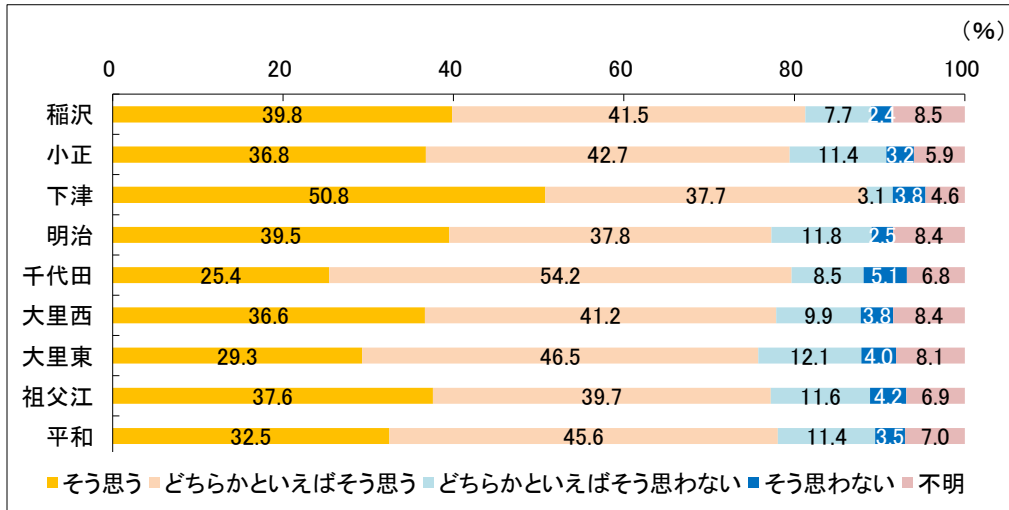
年齢別に回答結果を見ると、若年層ほど住み続ける意向が低くなる傾向にあり、20歳代以下では「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせて72.4%と最も低い。一方、住宅を1次取得する世代である30歳代は住み続ける意向が最も高く、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせて85.3%となっている。



(n : 20歳代以下=232、30歳代=334、40歳代=172、  
50歳代=170、60歳代=304、70歳以上=144)

【クロス集計結果（地区別）】

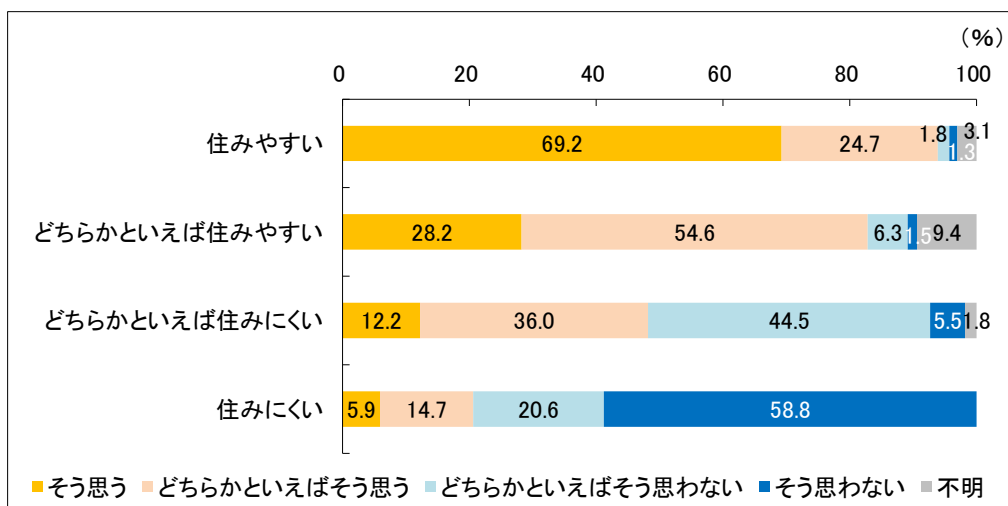
地区別に回答結果を見ると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な回答は各地区において7割超を占めている。特に、下津地区では「そう思う（50.8%）」が半数を占め、他地区よりも割合が高い。



(n : 稲沢=246、小正=185、下津=130、明治=119、千代田=59、大里西=131、大里東=99、祖父江=189、平和=114)

【クロス集計結果：問8（稲沢市の住みやすさ）×問10（稲沢市に住み続けたいか）】

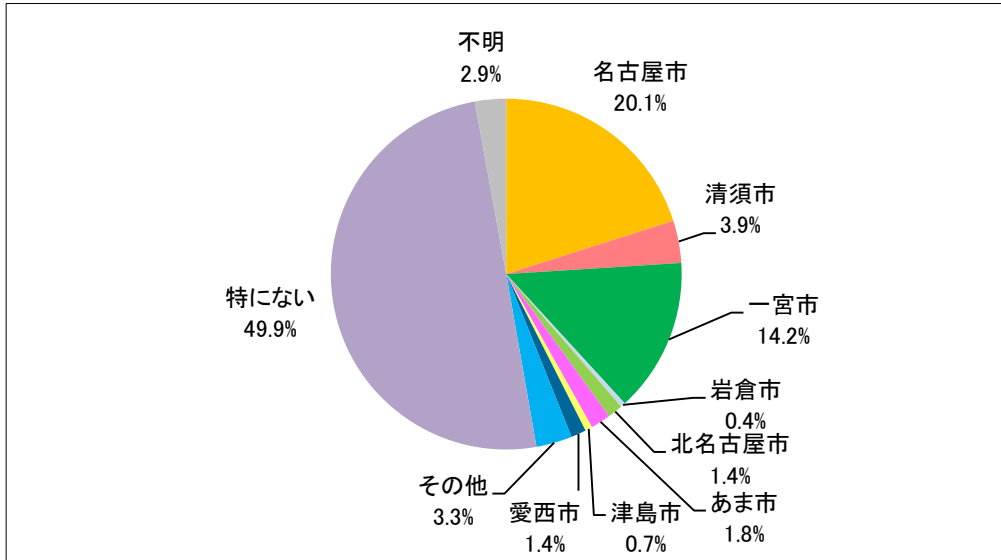
問8の住みやすさに関する評価別で稲沢市の居住継続意向を見ると、稲沢市を「住みやすい」と感じる回答者ほど、今後も稲沢市に住み続ける意向を持つ傾向にある。一方、「住みにくい」を選択した回答者のほとんどが今後も住み続けることについて否定的であるが、「どちらかといえば住みにくい」を選択した回答者についても、5割の回答者が継続して居住することに否定的な意向を示している。



(n : 住みやすい=393、どちらかといえば住みやすい=734、どちらかといえば住みにくい=164、住みにくい=34)

**問8 稲沢市より住みやすそうと思う近隣のまちはありますか。(SA)**

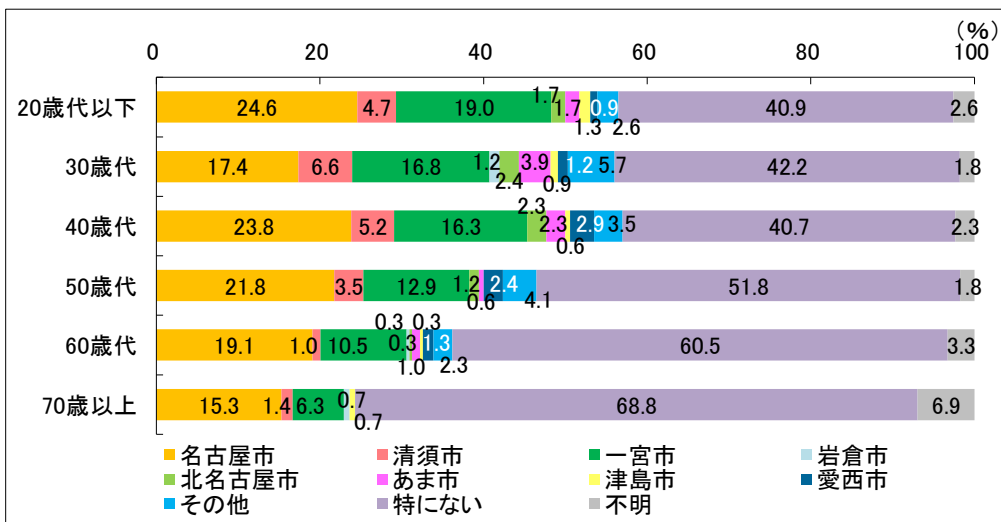
「名古屋市 (20.1%)」が最も高く、次いで「一宮市 (14.2%)」、「清須市 (3.9%)」となっている。なお、「特にない (49.9%)」は5割を占めている。



(n=1,359)

**【クロス集計結果 (年代別)】**

各年代とも「名古屋市」、「一宮市」の順に高く、40歳代以下で割合が高い傾向にある。これは、40歳代までは就職・結婚・持家取得などの移動が想定されるライフステージにあり、近隣市に関心を持ちやすいためと考えられる。

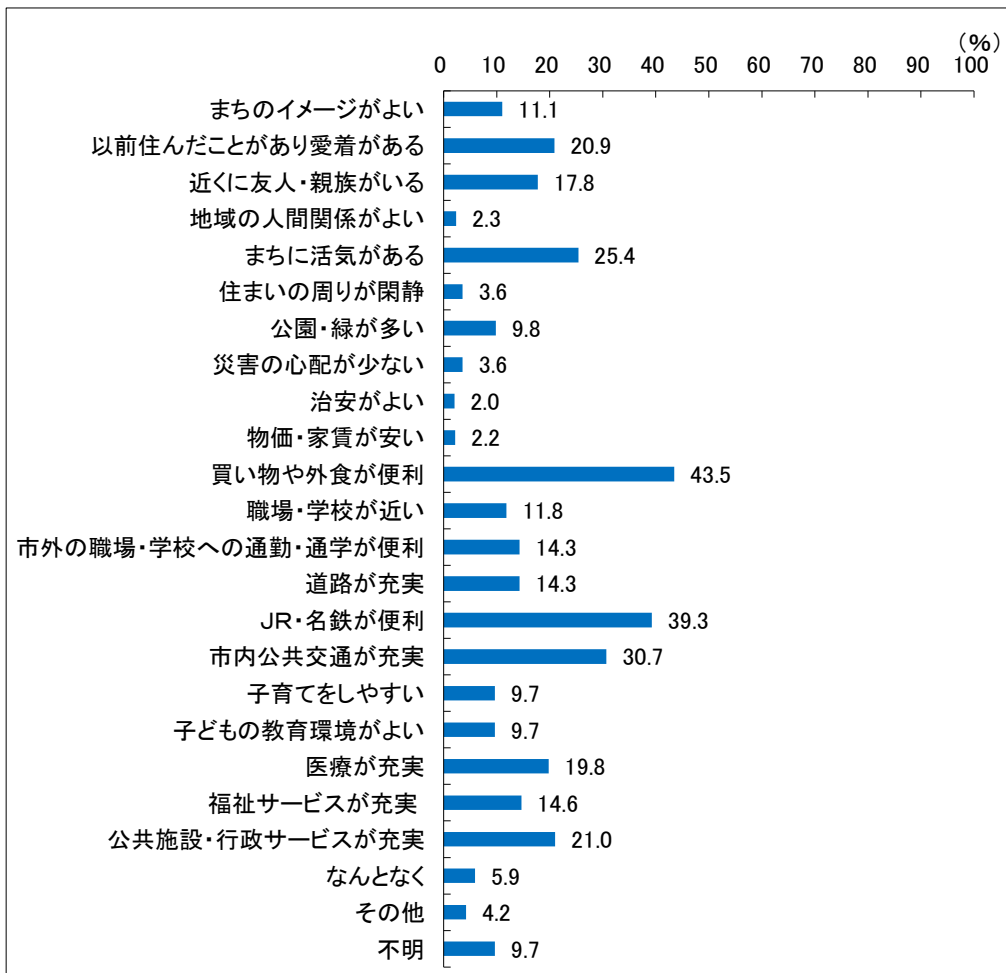


(n : 20歳代以下=232、30歳代=334、40歳代=172、  
50歳代=170、60歳代=304、70歳以上=144)

(問8で「10 特にない」以外を選択した方のみ)

**問9 なぜ問11で選んだまちが住みやすいと思えましたか。(MA：当てはまるもの全て)**

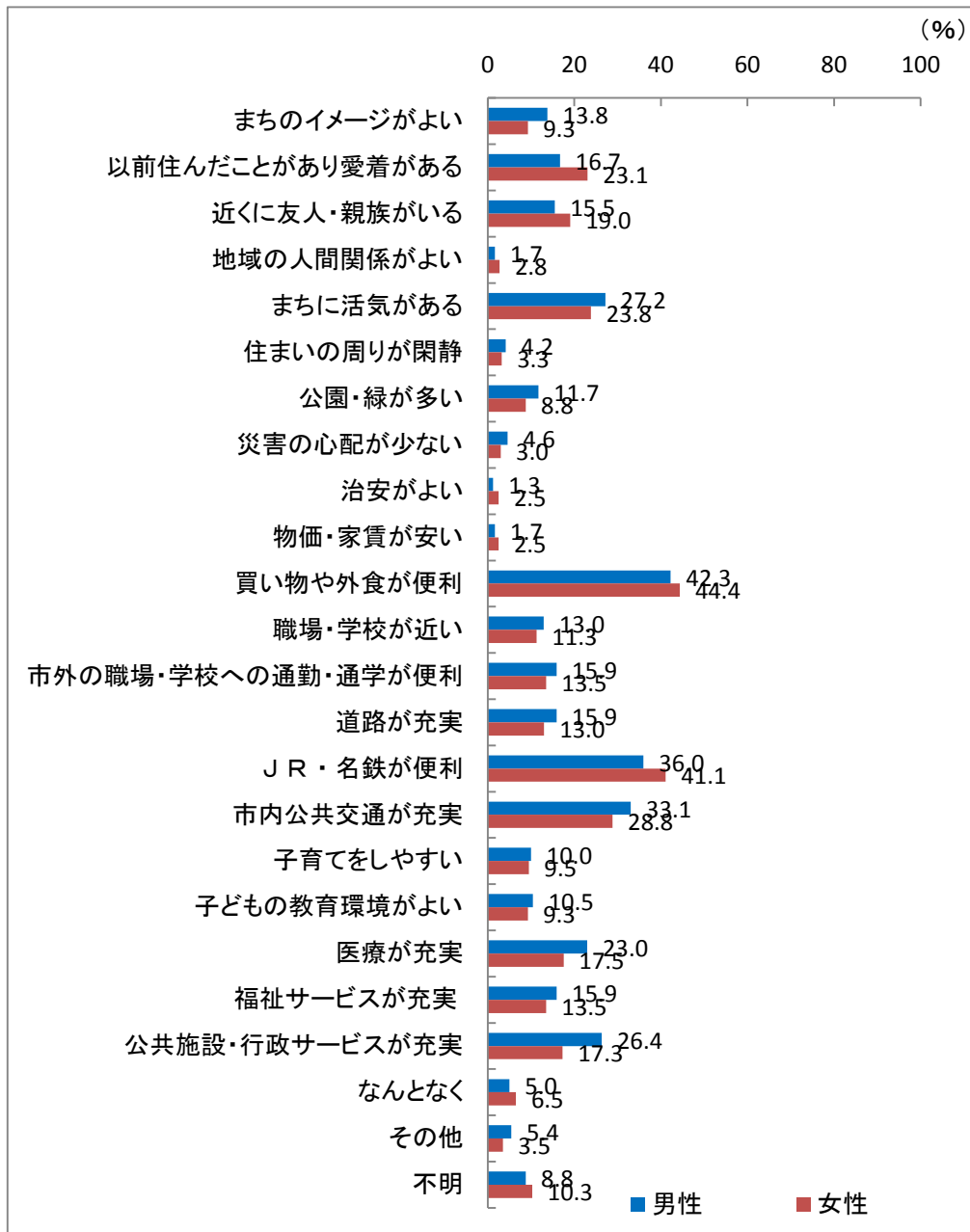
稲沢市よりも近隣のまちが住みやすい理由として、「買い物や外食が便利(43.5%)」、「JR・名鉄が便利(39.3%)」、「市内公共交通が充実(30.7%)」の順に高く、買い物や公共交通の利便性に関する項目の割合が高い。この上位2項目については、問9(なぜ稲沢市を住みやすいと思えましたか)の上位項目にも現れており、住民が居住地を選ぶ際の重要な判断基準となっていることがうかがえる。



(n= 642)

【クロス集計結果（性別）】

男女別に「稲沢市よりも近隣のまちが住みやすい」理由を見ると、男女とも「買い物や外食が便利（男性：42.3%、女性：44.4%）」が最も高く、次いで「JR・名鉄が便利（男性：36.0%、女性：41.1%）」、「市内公共交通が充実（男性：33.1%、女性：28.8%）」、「まちに活気がある（男性：27.2%、女性：23.8%）」となっている。なお、男女で大きな差が出た項目はなく、性別による回答の違いは見られない。



(n : 男性=239、女性=399)

【クロス集計結果（年齢別）】

年齢別に「稲沢市よりも近隣のまちが住みやすい」理由を見ると、「買い物や外食が便利」、「JR・名鉄が便利」については、60歳代までの各年代での割合が高いが、70歳以上では「医療が充実」、「福祉サービスが充実」、「公共施設・行政サービスが充実」の割合が高い。また、「市内公共交通が充実している」については、50歳代以上で割合が高い傾向にある。一方、子育て世代となる30歳代で「子育てをしやすい」、「子どもの教育環境がよい」の割合が高い傾向にある。

	回答者数	まちのイメージがよい	以前住んだことがあり愛着がある	近くに友人・親族がいる	地域の間人関係がよい	まちに活気がある	住まいの周りが閑静	公園・緑が多い	災害の心配が少ない
全体	642	11.1%	20.9%	17.8%	2.3%	25.4%	3.6%	9.8%	3.6%
20歳代以下	131	9.2%	9.9%	19.1%	0.8%	23.7%	3.1%	4.6%	1.5%
30歳代	187	11.8%	26.2%	21.9%	1.6%	24.6%	4.3%	12.3%	2.1%
40歳代	98	16.3%	22.4%	16.3%	3.1%	28.6%	5.1%	14.3%	2.0%
50歳代	79	11.4%	19.0%	7.6%	3.8%	25.3%	2.5%	13.9%	5.1%
60歳代	110	6.4%	22.7%	17.3%	2.7%	28.2%	2.7%	2.7%	7.3%
70歳以上	35	14.3%	28.6%	20.0%	5.7%	20.0%	2.9%	17.1%	8.6%

	治安がよい	物価・家賃が安い	買い物や外食が便利	職場・学校が近い	市外の職場・学校への通勤・通学が便利	道路が充実	JR・名鉄が便利	市内公共交通が充実
全体	2.0%	2.2%	43.5%	11.8%	14.3%	14.3%	39.3%	30.7%
20歳代以下	1.5%	2.3%	38.2%	21.4%	16.8%	9.2%	42.0%	26.0%
30歳代	2.7%	3.7%	45.5%	12.3%	18.2%	14.4%	40.6%	26.2%
40歳代	0.0%	1.0%	50.0%	9.2%	17.3%	16.3%	40.8%	27.6%
50歳代	2.5%	2.5%	40.5%	13.9%	13.9%	24.1%	36.7%	43.0%
60歳代	1.8%	0.9%	45.5%	3.6%	7.3%	10.0%	38.2%	35.5%
70歳以上	5.7%	0.0%	31.4%	2.9%	0.0%	17.1%	25.7%	40.0%

	子育てをしやすい	子どもの教育環境がよい	医療が充実	福祉サービスが充実	公共施設・行政サービスが充実	なんとなく	その他	不明
全体	9.7%	9.7%	19.8%	14.6%	21.0%	5.9%	4.2%	9.7%
20歳代以下	2.3%	5.3%	3.8%	3.8%	9.9%	8.4%	4.6%	12.2%
30歳代	18.7%	16.0%	18.2%	10.2%	20.9%	5.3%	4.3%	8.6%
40歳代	11.2%	9.2%	22.4%	17.3%	21.4%	7.1%	5.1%	10.2%
50歳代	6.3%	8.9%	29.1%	24.1%	22.8%	6.3%	5.1%	7.6%
60歳代	6.4%	6.4%	28.2%	17.3%	28.2%	3.6%	2.7%	11.8%
70歳以上	2.9%	5.7%	34.3%	42.9%	37.1%	2.9%	2.9%	2.9%

(n= 642)



【クロス集計結果（地区別）】

地区別に「稲沢市よりも近隣のまちが住みやすい」理由を見ると、各地区とも「買い物や外食が便利」の割合が高い傾向にある。また、千代田地区を除く各地区で「JR・名鉄が便利」の割合が高く、下津・千代田・祖父江地区以外で「市内公共交通が充実」の割合が3割超となっている。また、千代田地区では「医療が充実」、「福祉サービスが充実」の割合が他地区よりも低い傾向にあり、他地区に比べて千代田地区は異なる傾向を示している。

	回答者数	まちのイメージがよい	以前住んだことがあり愛着がある	近くに友人・親族がいる	地域の人間関係がよい	まちに活気がある	住まいの周りが閑静	公園・緑が多い	災害の心配が少ない
全体	642	11.1%	20.9%	17.8%	2.3%	25.4%	3.6%	9.8%	3.6%
稲沢	112	12.5%	16.1%	15.2%	0.0%	28.6%	2.7%	8.9%	5.4%
小正	88	11.4%	26.1%	20.5%	2.3%	28.4%	1.1%	3.4%	2.3%
下津	74	17.6%	21.6%	18.9%	2.7%	24.3%	2.7%	10.8%	2.7%
明治	51	11.8%	9.8%	7.8%	5.9%	33.3%	2.0%	9.8%	3.9%
千代田	37	13.5%	10.8%	16.2%	0.0%	27.0%	5.4%	8.1%	2.7%
大里西	58	8.6%	19.0%	17.2%	6.9%	22.4%	5.2%	17.2%	5.2%
大里東	49	10.2%	28.6%	16.3%	4.1%	28.6%	4.1%	14.3%	6.1%
祖父江	84	8.3%	17.9%	20.2%	1.2%	19.0%	3.6%	13.1%	1.2%
平和	54	7.4%	27.8%	16.7%	1.9%	24.1%	5.6%	5.6%	3.7%

	治安がよい	物価・家賃が安い	買い物や外食が便利	職場・学校が近い	市外の職場・学校への通勤・通学が便利	道路が充実	JR・名鉄が便利	市内公共交通が充実
全体	2.0%	2.2%	43.5%	11.8%	14.3%	14.3%	39.3%	30.7%
稲沢	2.7%	1.8%	42.0%	7.1%	13.4%	17.0%	42.0%	32.1%
小正	3.4%	2.3%	42.0%	11.4%	15.9%	20.5%	37.5%	35.2%
下津	1.4%	0.0%	39.2%	18.9%	9.5%	5.4%	37.8%	24.3%
明治	2.0%	7.8%	49.0%	15.7%	7.8%	17.6%	37.3%	33.3%
千代田	0.0%	0.0%	45.9%	8.1%	13.5%	13.5%	24.3%	21.6%
大里西	1.7%	1.7%	34.5%	13.8%	17.2%	15.5%	41.4%	32.8%
大里東	2.0%	2.0%	40.8%	10.2%	10.2%	12.2%	38.8%	30.6%
祖父江	0.0%	1.2%	50.0%	13.1%	21.4%	15.5%	41.7%	23.8%
平和	5.6%	1.9%	53.7%	5.6%	18.5%	9.3%	44.4%	40.7%

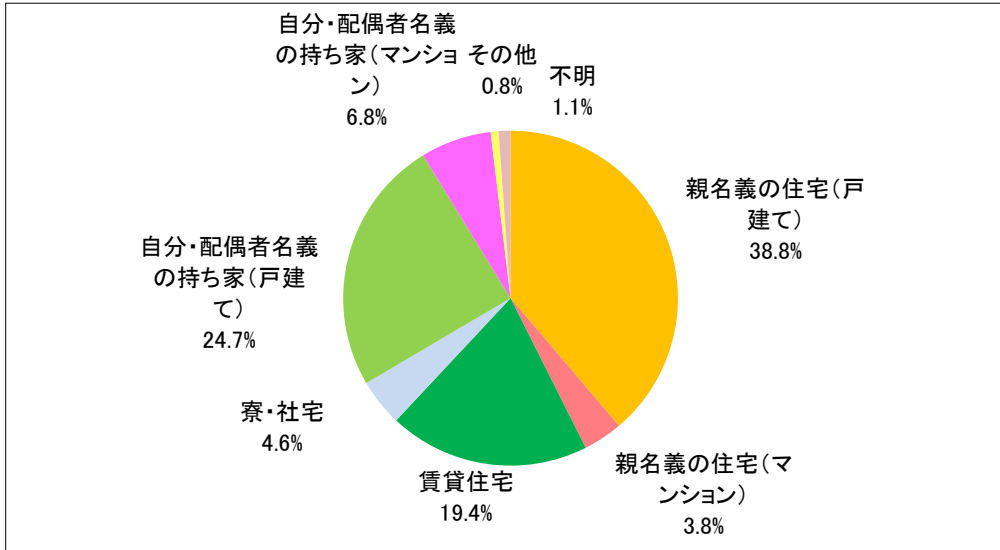
	子育てをしやすい	子どもの教育環境がよい	医療が充実	福祉サービスが充実	公共施設・行政サービスが充実	なんとなく	その他	不明
全体	9.7%	9.7%	19.8%	14.6%	21.0%	5.9%	4.2%	9.7%
稲沢	8.9%	11.6%	18.8%	11.6%	21.4%	7.1%	4.5%	8.0%
小正	11.4%	5.7%	23.9%	15.9%	15.9%	3.4%	4.5%	9.1%
下津	8.1%	16.2%	14.9%	12.2%	25.7%	5.4%	8.1%	10.8%
明治	13.7%	7.8%	29.4%	21.6%	29.4%	13.7%	2.0%	3.9%
千代田	8.1%	10.8%	8.1%	8.1%	21.6%	2.7%	2.7%	13.5%
大里西	12.1%	15.5%	34.5%	20.7%	25.9%	5.2%	0.0%	10.3%
大里東	12.2%	10.2%	22.4%	18.4%	26.5%	12.2%	8.2%	8.2%
祖父江	7.1%	6.0%	11.9%	11.9%	10.7%	3.6%	4.8%	17.9%
平和	9.3%	9.3%	20.4%	20.4%	20.4%	1.9%	1.9%	5.6%

(n= 642)

## 定住や居住環境について

### 問 10 あなたの現在の住まいについて選んでください。(1つに○印)

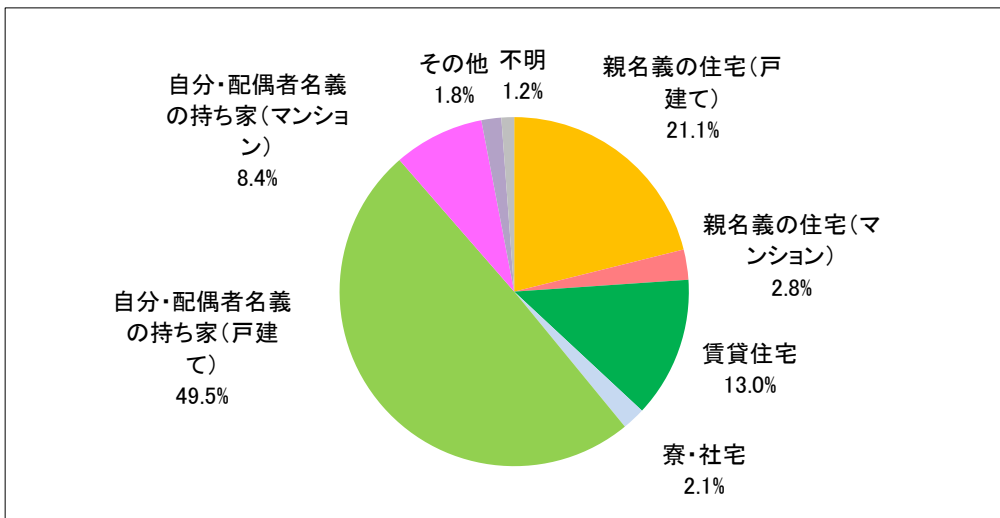
現在の住まいでは、「親名義の住宅（戸建て）（38.8%）」が最も高く、次いで「自分・配偶者名義の持ち家（戸建て）（24.7%）」、「賃貸住宅（19.4%）」となっている。なお、戸建て住宅に住む回答者は全体の約6割を占める。



(n=263)

(参考) 将来のまちづくりに関するアンケート調査との合算値（問 11～13 の元データとして活用）

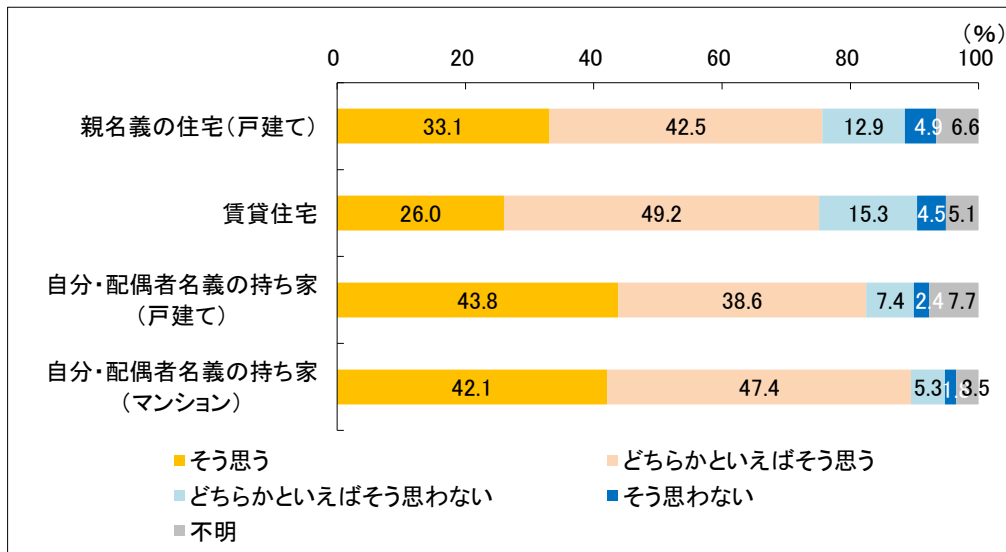
「自分・配偶者名義の持ち家（戸建て）（49.5%）」が最も高く、次いで「親名義の住宅（戸建て）（21.1%）」、「賃貸住宅（13.0%）」となっている。



(n=1,359)

【クロス集計結果：問 13（現在の住まい）× 問 10（稲沢市に住み続けたいか）】

現在の住まい別に稲沢市の居住継続意向を見ると、自分・配偶者名義の持ち家に居住する回答者ほど、居住継続意向が高く、戸建てに比べてマンションでその傾向が強い。

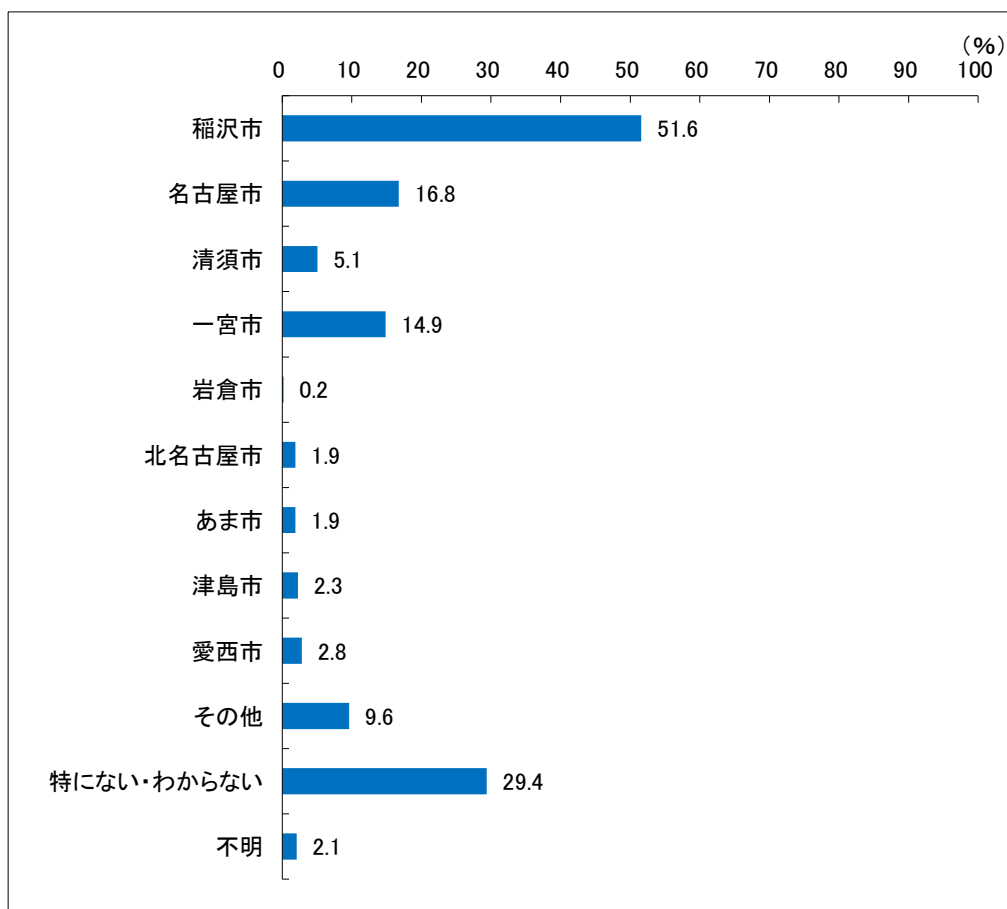


(n：親名義の住宅(戸建て) = 287、賃貸住宅 = 177、  
自分・配偶者名義の持ち家(戸建て) = 673、  
自分・配偶者名義の持ち家(マンション) = 114 )

(問 10 で「1 親名義の住宅」～「4 寮・社宅」を選択した方のみ)

**問 11 将来、自分または配偶者名義の持ち家をもつとしたら、どこが候補になりますか。(MA: 3 つまで)**

将来の自分または配偶者名義の持ち家を持つ候補地としては、「稲沢市」が 51.6%と突出して高く、稲沢市内へ住みつづけることを検討する回答が半数を占めている。次いで「名古屋市 (16.8%)」、「一宮市 (14.9%)」、「清須市 (5.1%)」となっている。これら 3 市は問 11 (住みやすそうと思う近隣のまち) の上位 3 市と一致しており、住みやすいまちと認知されることは、持ち家を所有するための候補地になることにつながるということが伺える。なお、「特にない・わからない (29.4%)」は約 3 割を占めている。

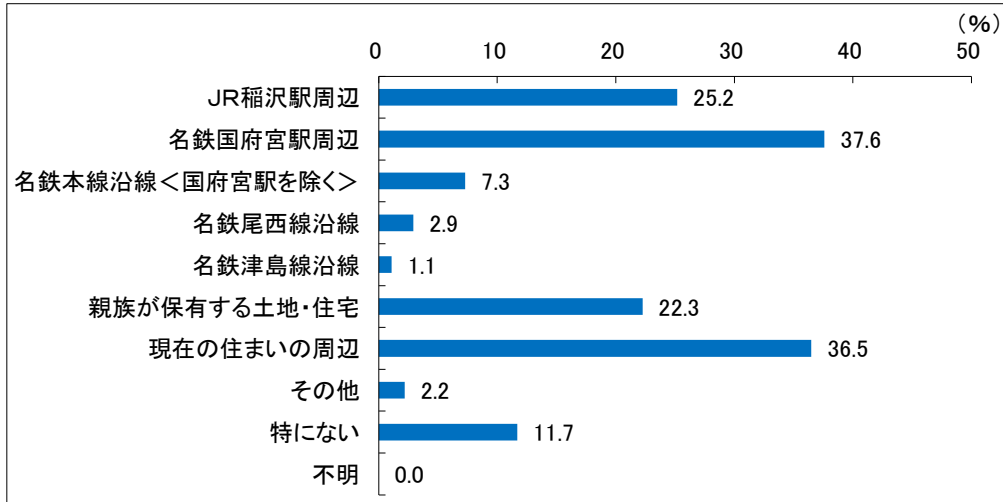


(n= 531)

(問 10 で「1 稲沢市」を選択した方のみ)

**問 12 稲沢市内のどこに住みたいか希望や予定がありますか。(MA：2つまで)**

稲沢市内における居住希望地は、「名鉄国府宮駅周辺 (37.6%)」が最も高いものの、同程度の割合で「現在の住まいの周辺 (36.5%)」が続いている。また、「JR 稲沢駅周辺 (25.2%)」、「親族が保有する土地・住宅 (22.3%)」についても 2 割超となっている。



(n=274)

【クロス集計結果 (地区別)】

地区別に回答結果を見ると、「JR 稲沢駅周辺」は小正・下津地区の割合が、「名鉄国府宮駅周辺」は稲沢・小正地区の割合が他の地区に比べて突出している。また、各地区とも「現在の住まいの周辺」の割合が高いものの、稲沢・小正・下津地区の割合は他地区に比べて低く、駅周辺のより利便性の高い場所での居住を希望する傾向にある。なお、「親族が保有する土地・住宅」は、下津・明治・祖父江・平和地区で 3 割超の高い割合を示している。

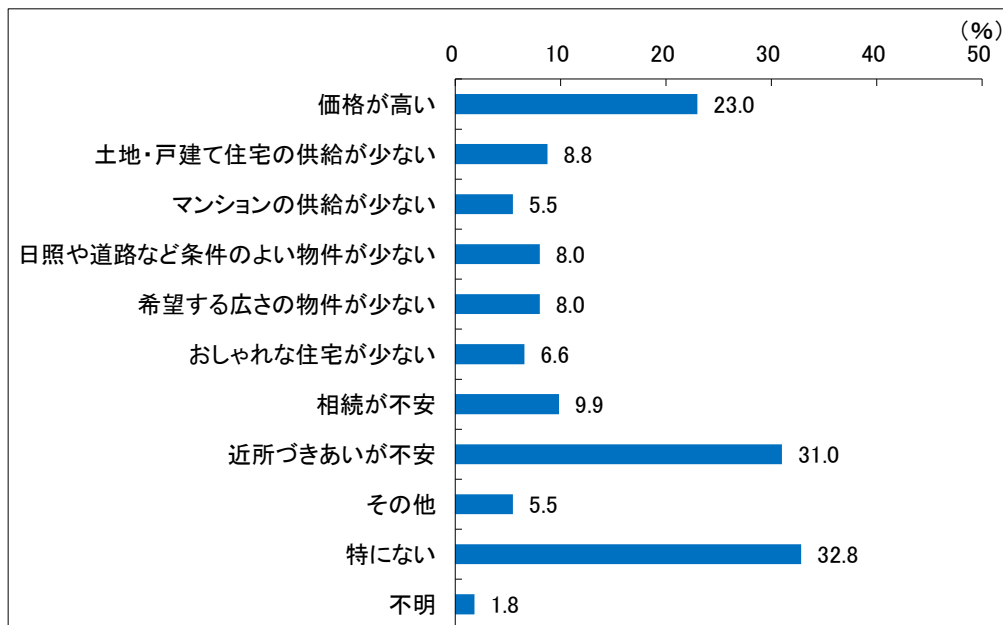
	回答者数	J R 稲沢 駅周辺	名鉄国府 宮駅周辺	名鉄本線 沿線<国 府宮駅を 除く>	名鉄尾西 線沿線	名鉄津島 線沿線	親族が保 有する土 地・住宅	現在の住 まいの周 辺	その他	特にない	不明
全体	274	25.2%	37.6%	7.3%	2.9%	1.1%	22.3%	36.5%	2.2%	11.7%	0.0%
稲沢	60	20.0%	58.3%	1.7%	1.7%	0.0%	15.0%	28.3%	3.3%	15.0%	0.0%
小正	42	50.0%	50.0%	4.8%	0.0%	0.0%	11.9%	28.6%	2.4%	4.8%	0.0%
下津	22	45.5%	31.8%	13.6%	0.0%	0.0%	31.8%	31.8%	0.0%	0.0%	0.0%
明治	29	10.3%	20.7%	3.4%	3.4%	0.0%	37.9%	55.2%	0.0%	10.3%	0.0%
千代田	9	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	22.2%	0.0%
大里西	24	16.7%	29.2%	25.0%	0.0%	4.2%	16.7%	41.7%	4.2%	8.3%	0.0%
大里東	19	26.3%	26.3%	10.5%	0.0%	0.0%	10.5%	36.8%	10.5%	15.8%	0.0%
祖父江	29	10.3%	24.1%	0.0%	17.2%	0.0%	34.5%	34.5%	0.0%	20.7%	0.0%
平和	17	11.8%	11.8%	11.8%	0.0%	5.9%	41.2%	58.8%	0.0%	17.6%	0.0%

(n=274)

(問 10 で「1 稲沢市」を選択した方のみ)

**問 13 稲沢市内で住宅を探す際に不安に思うことはありますか。(MA：2つまで)**

稲沢市内で住宅を探す際の不安としては「近所づきあいが不安 (31.0%)」が最も高く、次いで「価格が高い (23.0%)」となっている。なお、「特にない (32.8%)」が3割超を占める。

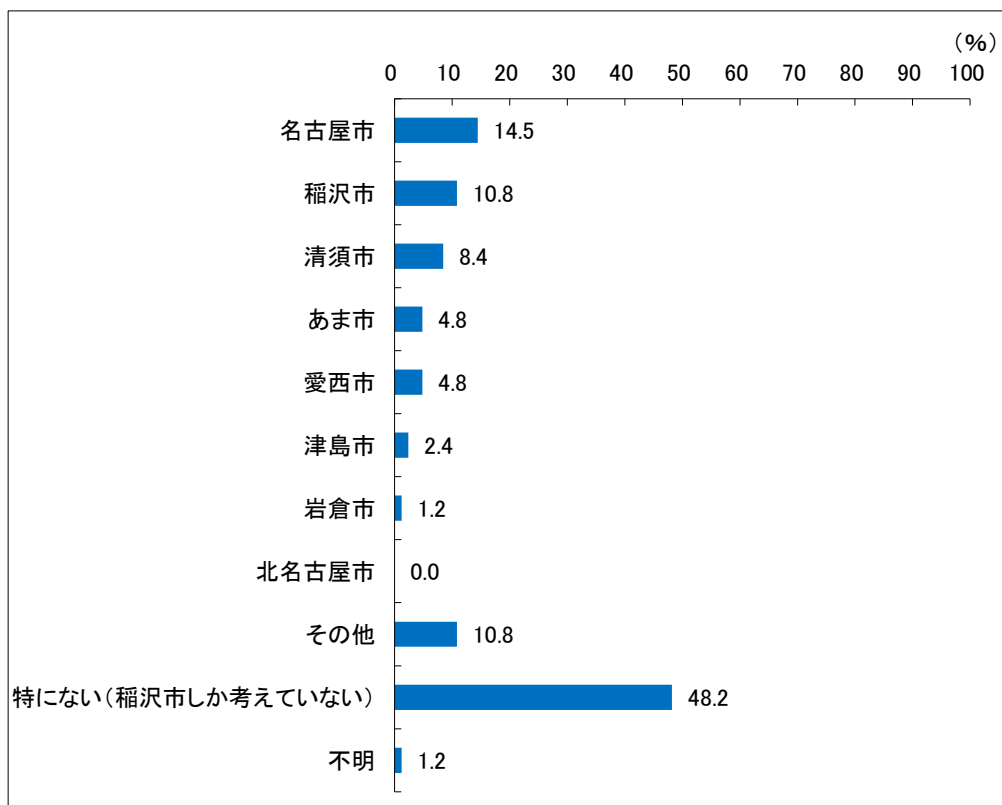


(n=274)

※ 次の設問は問 10 で「5 自分・配偶者名義の持ち家（戸建て）」、「6 自分・配偶者名義の持ち家（マンション）」を選択した方のみ回答してください。

**問 14 住宅を保有する際に他市区町村にも候補がありましたか。（2つまでに○印）**

「特にない（稲沢市しか考えていない）（48.2%）」が最も高く、突出しており、次いで「一宮市（18.1%）」、「名古屋市（14.5%）」となっている。

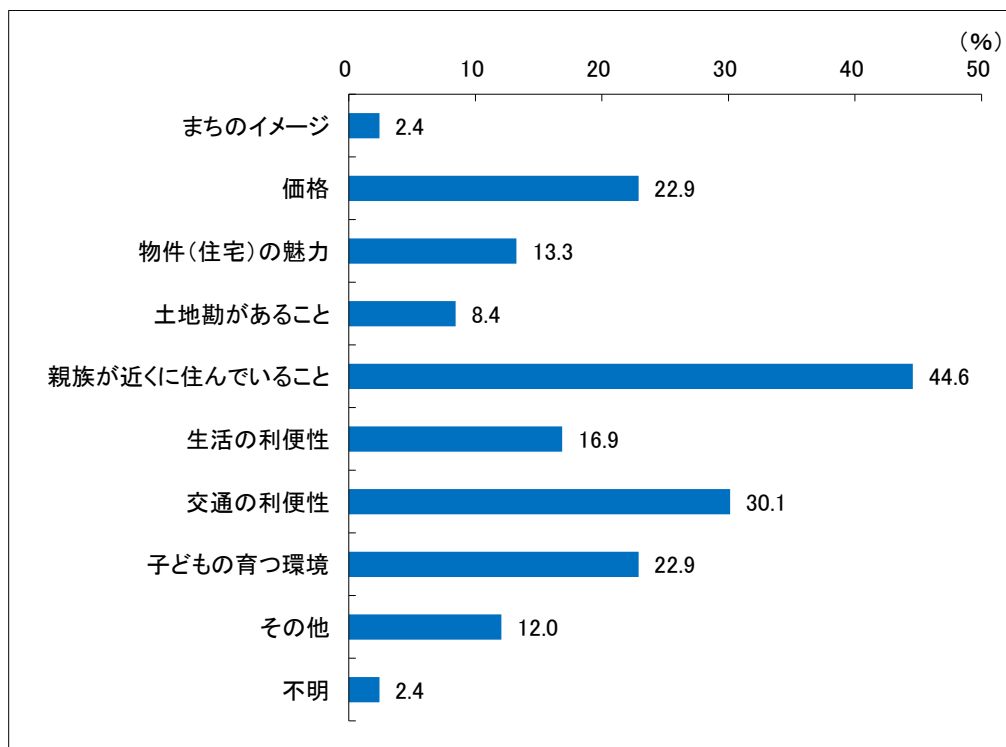


(n=83)

※ 次の設問は問 10 で「5 自分・配偶者名義の持ち家（戸建て）」、「6 自分・配偶者名義の持ち家（マンション）」を選択した方のみ回答してください。

**問 15 住宅を保有する際に何が決め手となりましたか。（2つまでに○印）**

住宅保有の決め手として、「親族が近くに住んでいること（44.6%）」が最も高く、次いで「交通の利便性（30.1%）」、「子供の育つ環境（22.9%）」、「価格（22.9%）」となっている。

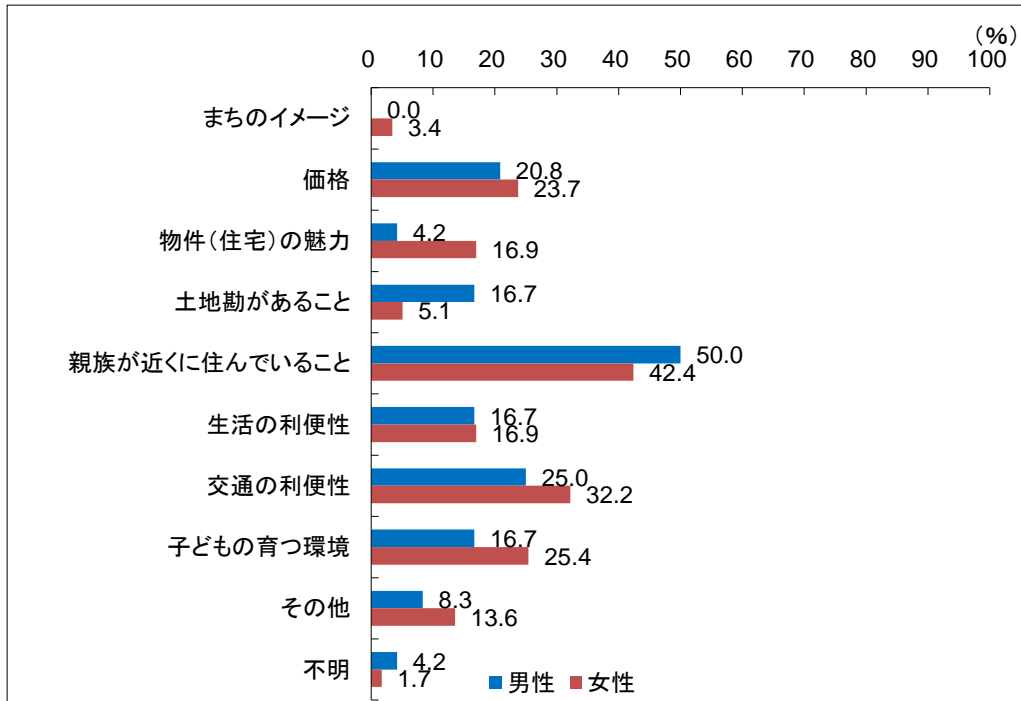


(n=83)



【クロス集計結果（性別）】

男女ともに「親族が近くに住んでいること（男性：50.0%、女性：42.4%）」が最も高い。男女で明確な差が生じた項目として「物件（住宅）の魅力（男性：4.2%、女性 16.9%）」、「土地勘があること（男性：16.7%、女性 5.1%）」が挙げられ、前者は女性が約 10 ポイント、後者は男性が 10 ポイントそれぞれ上回っている。

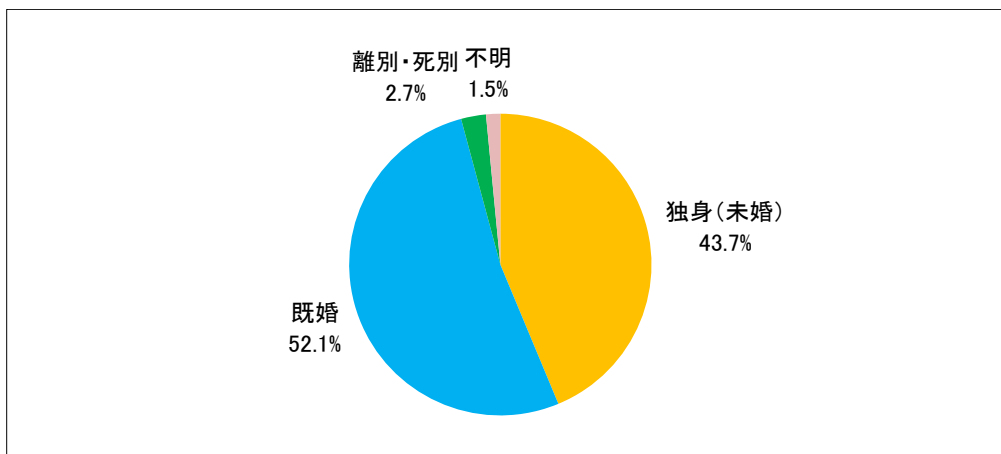


(n : 男性=24、女性=59)

## 結婚について

### 問 16 現在、あなたは結婚していますか。(1つに○印)

回答者においては、「既婚 (52.1%)」が「独身 (未婚) (43.7%)」を約 10 ポイント上回っている。

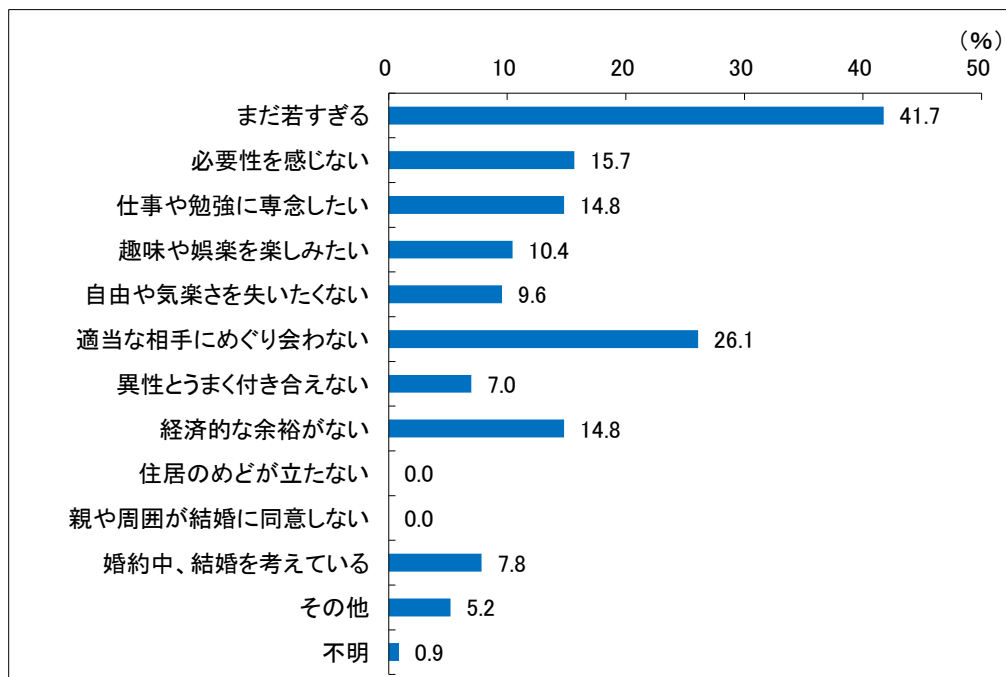


(n=263)

※ 次の設問は問 16 で「1 独身 (未婚)」を選択した方のみ回答してください。

### 問 17 どのような理由で結婚していないのですか。(2つまでに○印)

「まだ若すぎる (41.7%)」が最も高く、次いで「適切な相手にめぐり会わない (26.1%)」、「必要性を感じない (15.7%)」、「仕事や勉強に専念したい (14.8%)」、「経済的な余裕がない (14.8%)」となっている。



(n=115)

【クロス集計結果（年齢別）】

年齢別に結婚をしていない理由を見ると、16～24歳では「まだ若すぎる（16～19歳：92.3%、20～24歳：58.5%）」が最も高く突出している。一方、25～39歳では「適切な相手にめぐり合わない（25～29歳：47.6%、30～34歳：46.2%、35～39歳：64.3%）」が最も高く、30～39歳では突出している。また、「経済的な余裕がない（25～29歳：19.0%、30～34歳：23.1%、35～39歳：21.4%）」、「必要性を感じない（25～29歳：19.0%、30～34歳：23.1%、35～39歳：21.4%）」の割合も高く、各項目とも年齢が高くなるとともに、その割合も高くなる傾向にある。

	回答者数	まだ若すぎる	必要性を感じない	仕事や勉強に専念したい	趣味や娯楽を楽しみたい	自由や気楽さを失いたくない	適切な相手にめぐり合わない	異性とうまく付き合えない
全体	115人	41.7%	15.7%	14.8%	10.4%	9.6%	26.1%	7.0%
16～19歳	26人	92.3%	3.8%	19.2%	3.8%	0.0%	3.8%	3.8%
20～24歳	41人	58.5%	17.1%	19.5%	17.1%	14.6%	9.8%	2.4%
25～29歳	21人	0.0%	19.0%	19.0%	4.8%	9.5%	47.6%	14.3%
30～34歳	13人	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	15.4%	46.2%	7.7%
35～39歳	14人	0.0%	21.4%	0.0%	21.4%	7.1%	64.3%	14.3%

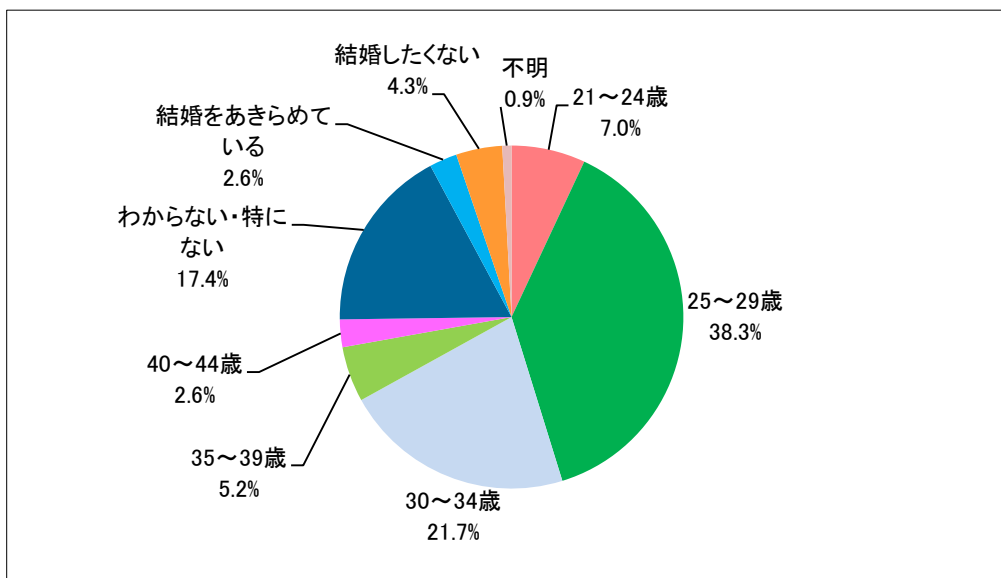
	経済的な余裕がない	住居のめどが立たない	親や周囲が結婚に同意しない	婚約中、結婚を考えている	その他	不明
全体	14.8%	0.0%	0.0%	7.8%	5.2%	0.9%
16～19歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
20～24歳	14.6%	0.0%	0.0%	2.4%	7.3%	2.4%
25～29歳	19.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%
30～34歳	23.1%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%
35～39歳	28.6%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%

(n=115)

※ 次の設問は問 16 で「1 独身（未婚）」を選択した方のみ回答してください。

**問 18 何歳ぐらいで結婚したいと思いますか。（1つに○印）**

「25～29 歳（38.3%）」が最も高く、次いで「30～34 歳（21.7%）」となっており、25～35 歳が 6 割を占め、大半の回答者が同年代を結婚適齢期と捉えていることがうかがえる。なお、「わからない・特にない（17.4%）」が約 2 割を占める。

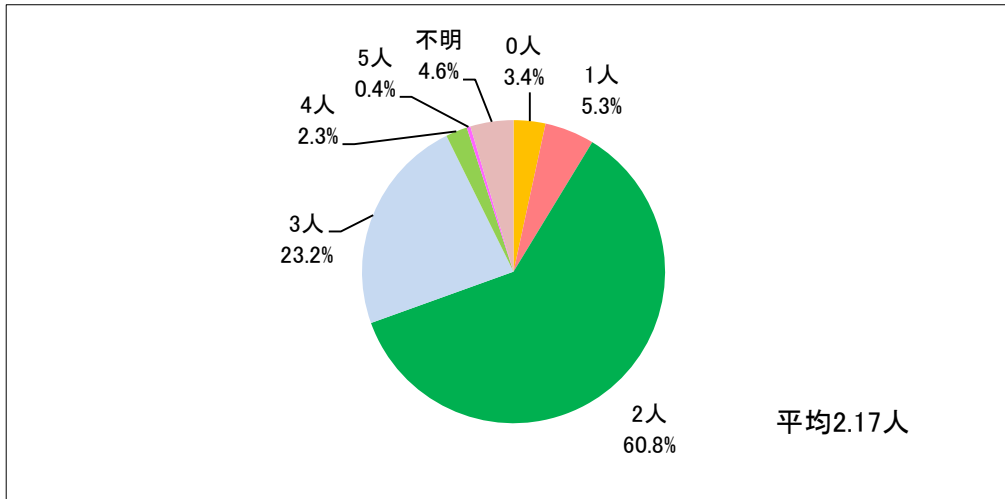


(n=115)

## 出産・子育てについて

### 問 19 あなたにとって「理想的な子どもの人数」は何人ですか。

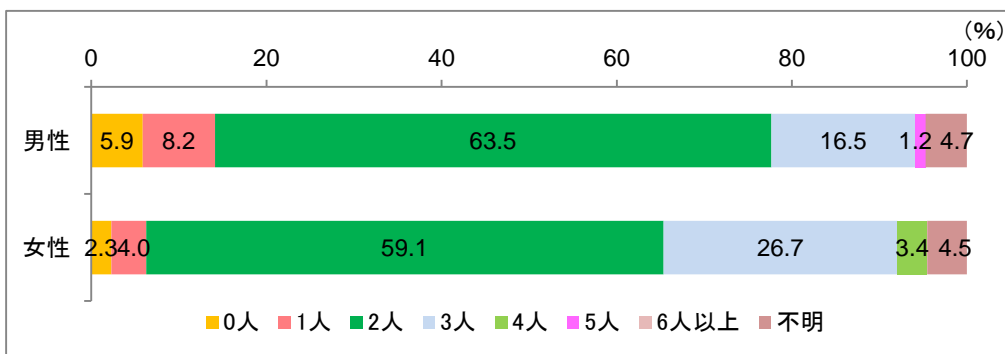
理想的な子どもの人数は、「2人（60.8%）」が最も高く、次いで「3人（23.2%）」となっている。子供を2人以上希望する回答者の割合は86.7%と約9割を占め、回答者が希望する理想的な子どもの人数の平均は2.17人であった。



(n=263)

#### 【クロス集計結果（男女別）】

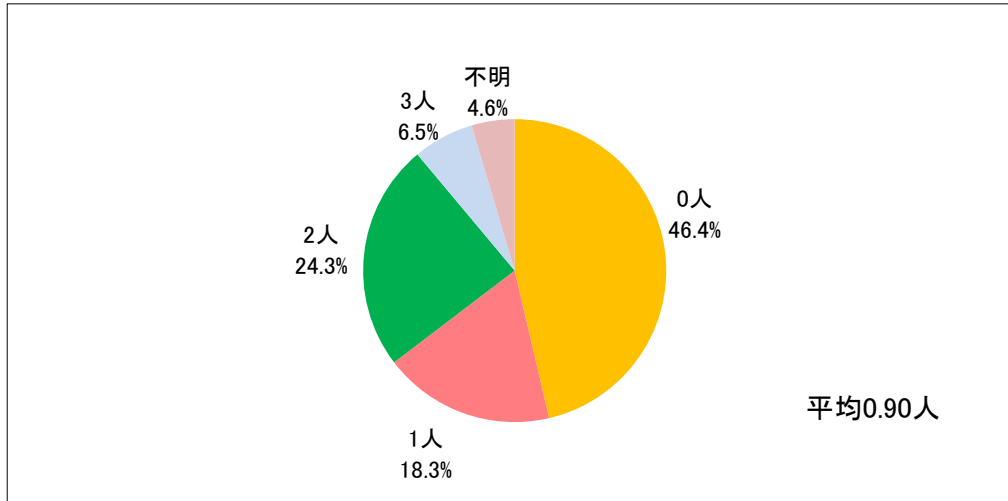
男女別に理想の子ども数の回答結果を見ると、女性の方が男性よりも多くの子どもを望む傾向にある。理想の子供数を「3人以上（男性：17.6%、女性：30.1%）」と回答する割合をみると、女性が男性を10ポイント以上上回っている。



(n：男性=85、女性=176)

**問 20 あなたの「現在の子どもの人数」は何人ですか。**

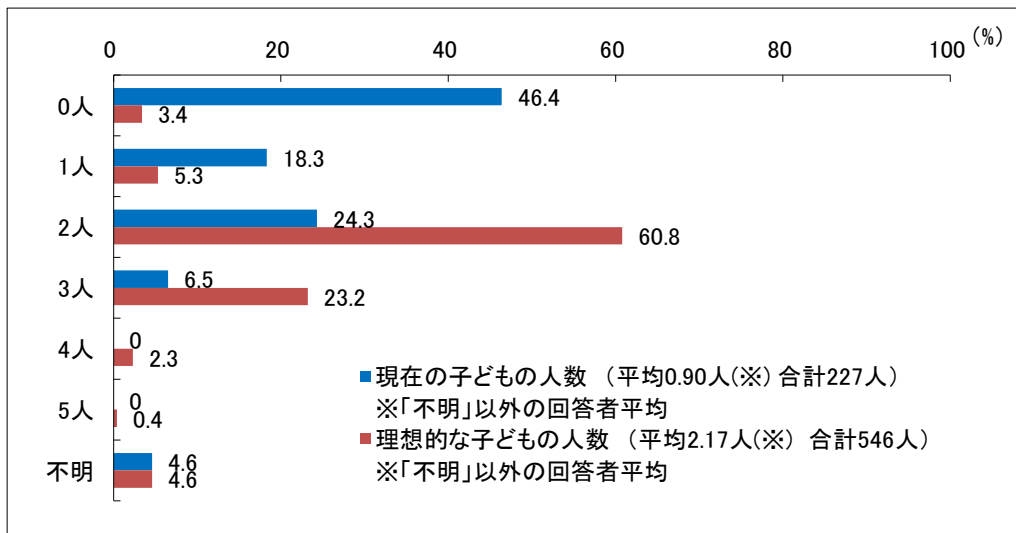
「0人 (46.4%)」が最も高く、次いで「2人 (24.3%)」、「1人 (18.3%)」となっている。なお、回答者の現在の平均子供数は 0.90 人であった。



(n=263)

**【集計結果比較：問 19（現在の子どもの人数）・問 20（理想的な子どもの人数）】**

現在の子どもの人数と理想的な子どもの人数の割合を比較すると、実際の子どもの数よりも多くの子どもの数を望んでおり、子どもが要らない、あるいは1人で十分と考える人は少数であることがわかる。

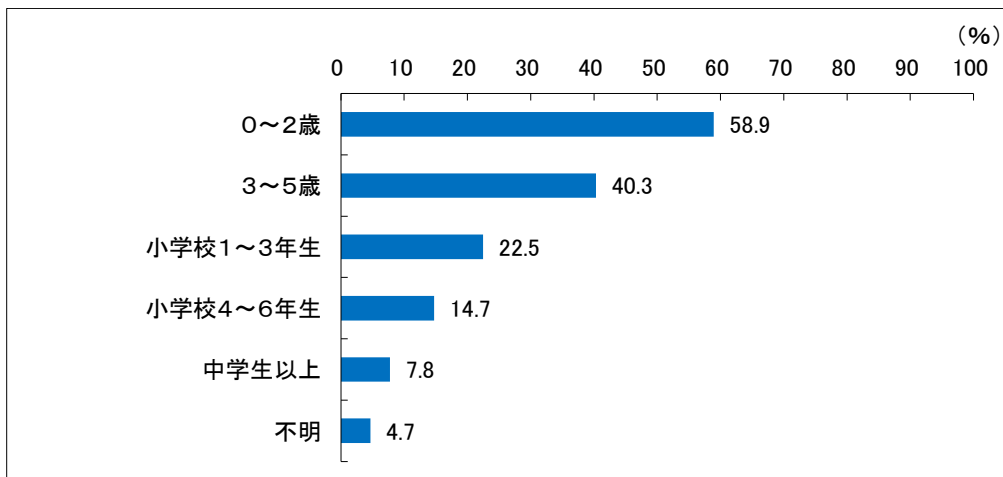


(n=263)

次の設問は問 20 で「0 人」以外を回答した方（子どもがいる方）のみ回答してください。

**問 21 平成 27 年 4 月 2 日時点でお子さんは何歳ですか。（当てはまるもの全てに○印）**

回答者の子どもの多くが未就学児（5 歳以下）である。これは、本アンケートでの回答対象者を 16 歳～39 歳の男女に限定していることが要因として考えられる。

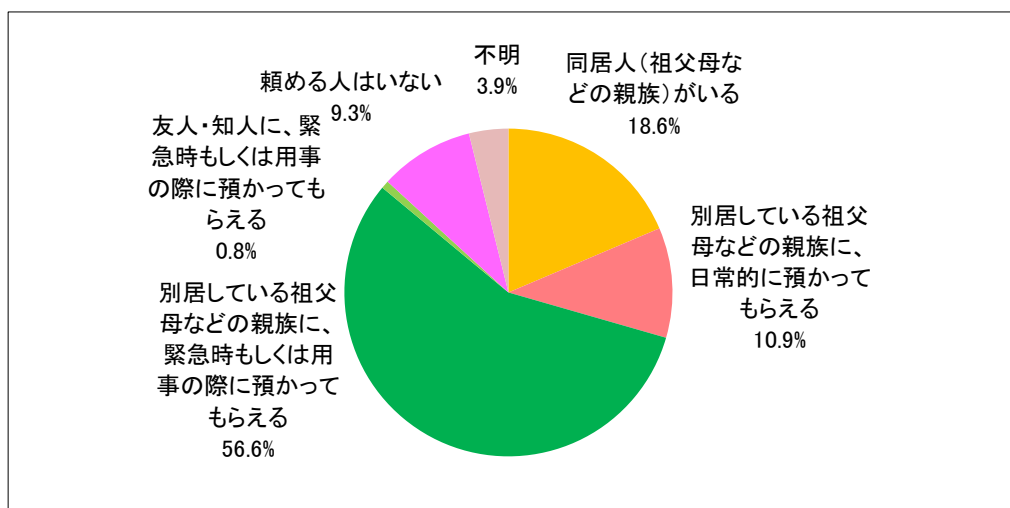


(n=129)

※ 次の設問は問 20 で「0 人」以外を回答した方（子どもがいる方）のみ回答してください。

**問 22 あなたには子どもの世話を頼める人がいますか。（1つに○印）**

祖父母や親族に子どもの世話を頼むことができる回答者は 86.1%と約 9 割を占めている。一方、「頼める人はいない（9.3%）」という回答者が約 1 割を占める。

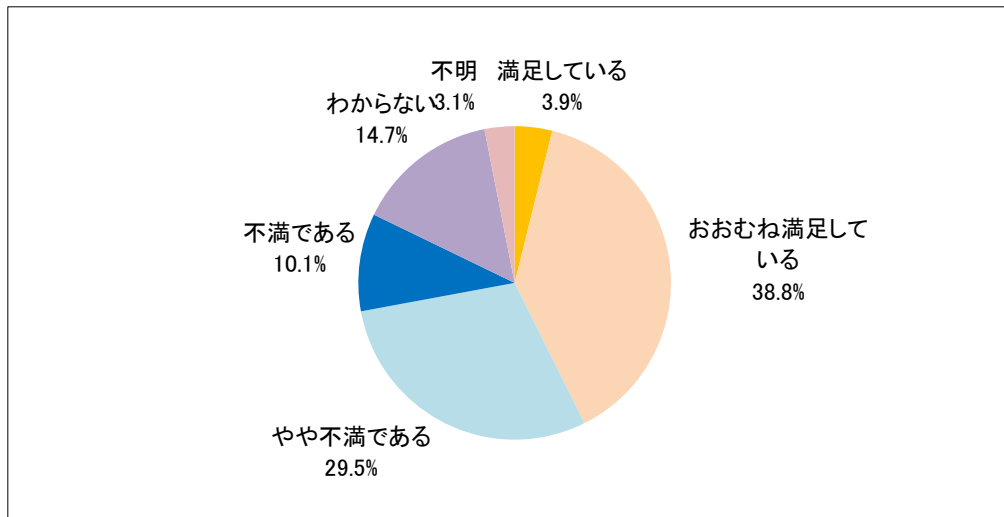


(n=129)

※ 次の設問は問 20 で「0 人」以外を回答した方（子どもがいる方）のみ回答してください。

**問 23 稲沢市の子育て環境について満足していますか。（1つに○印）**

「満足している（3.9%）」、「おおむね満足している（38.8%）」を合わせた回答は 42.7%と約 4 割を占める。一方、「不満である（10.1%）」、「やや不満である（29.5%）」を合わせた回答も 39.6%と約 4 割を占め、満足、不満とも同程度を占めている。

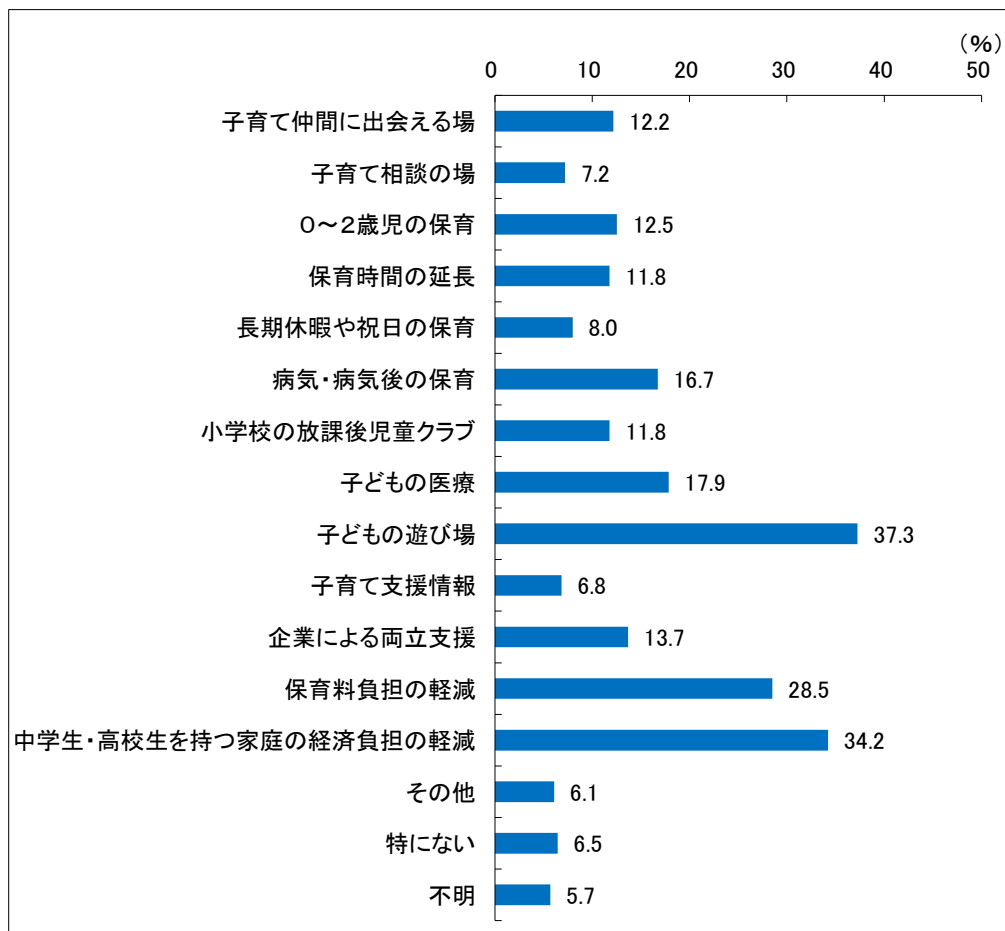


(n=129)



**問 24 稲沢市の子育て環境について、今後、どのような取り組みを「もっと充実する」必要があると思いますか。(3つまでに○印)**

「子どもの遊び場(37.3%)」が最も多く、次いで「中学生・高校生を持つ家庭の経済負担の軽減(34.2%)」、「保育料負担の軽減(28.5%)」となっている。



(n=263)

【クロス集計結果：問 20（現在の子ども的人数）× 問 24（充実すべき取り組み）】

現在の子ども的人数に応じて、今後充実すべき取り組みを見ると、子どもがいない（0人）回答者については、「中学生・高校生を持つ家庭の経済負担の軽減（30.3%）」が最も高く、次いで「子どもの遊び場（23.8%）」、「子どもの医療（19.7%）」、「保育料負担の軽減（19.7%）」となっている。

一方、子どもを持つ回答者については、「病気・病後の保育」、「小学校の放課後児童クラブ」、「中学生・高校生を持つ家庭の経済負担の軽減」の割合が、子どもの数が増えるにつれて高くなる傾向にある。また、「子どもの遊び場」、「保育料負担の軽減」についても、人数にかかわらず高い割合を示している。

	回答者数	子育て仲間 に出会える 場	子育て相談 の場	0～2歳児 の保育	保育時間の 延長	長期休暇や 祝日の保育	病気・病気 後の保育	小学校の放 課後児童ク ラブ	子どもの医 療
全体	263人	12.2%	7.2%	12.5%	11.8%	8.0%	16.7%	11.8%	17.9%
0人	122人	14.8%	6.6%	14.8%	12.3%	5.7%	11.5%	8.2%	19.7%
1人	48人	14.6%	10.4%	16.7%	22.9%	10.4%	16.7%	8.3%	16.7%
2人	64人	9.4%	4.7%	6.3%	6.3%	4.7%	23.4%	17.2%	18.8%
3人	17人	5.9%	0.0%	17.6%	5.9%	23.5%	35.3%	35.3%	11.8%
4人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6人以上	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	12人	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%

	子どもの遊 び場	子育て支援 情報	企業による 両立支援	保育料負担 の軽減	中学生・高 校生を持つ 家庭の経済 負担の軽減	その他	特にない	不明
全体	37.3%	6.8%	13.7%	28.5%	34.2%	6.1%	6.5%	5.7%
0人	23.8%	6.6%	18.0%	19.7%	30.3%	4.1%	12.3%	9.0%
1人	43.8%	10.4%	14.6%	37.5%	27.1%	8.3%	2.1%	0.0%
2人	62.5%	4.7%	7.8%	37.5%	37.5%	9.4%	1.6%	0.0%
3人	47.1%	0.0%	0.0%	23.5%	76.5%	5.9%	0.0%	0.0%
4人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6人以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.0%	16.7%	16.7%	41.7%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%

(n=263)

【クロス集計結果：問 21（現在の子ども年齢）× 問 24（充実すべき取り組み）】

現在の子ども年齢別に今後充実すべき取り組みを見ると、子どもの年齢にかかわらず、「病気・病気の後の保育」、「子どもの遊び場」の割合が高い傾向にある。また、「0～2歳児の保育」、「小学校の放課後児童クラブ」、「保育料負担の軽減」、「中学生・高校生を持つ家庭の経済負担の軽減」については、受益者となる年齢での割合が高くなる傾向にある。なお、「保育時間の延長」は小学校4年生以上で高くなっている。

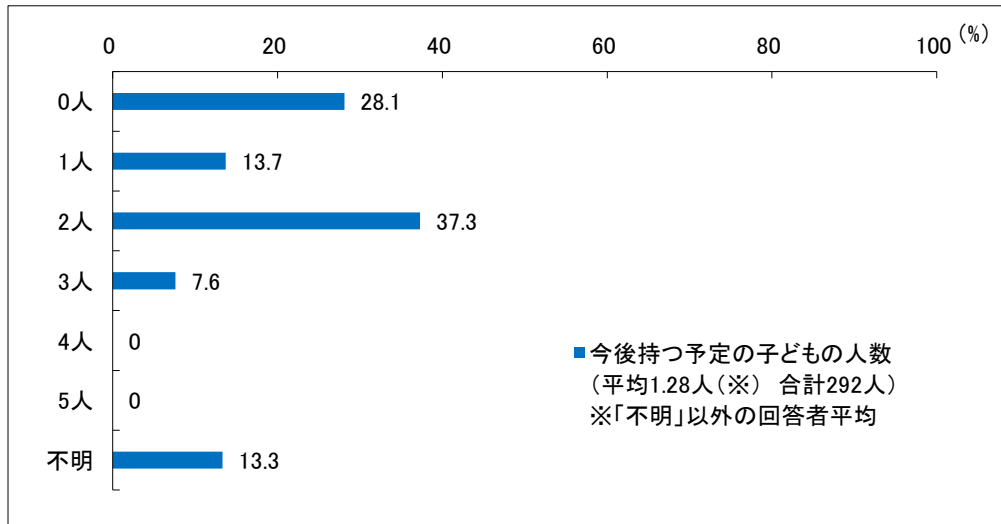
	回答者数	子育て仲間に出会える場	子育て相談の場	0～2歳児の保育	保育時間の延長	長期休暇や祝日の保育	病気・病気の後の保育	小学校の放課後児童クラブ	子どもの医療
全体	192人	12.2%	7.2%	12.5%	11.8%	8.0%	16.7%	11.8%	17.9%
0～2歳	76人	17.1%	5.3%	17.1%	10.5%	9.2%	25.0%	14.5%	11.8%
3～5歳	52人	7.7%	5.8%	5.8%	9.6%	11.5%	32.7%	26.9%	13.5%
小学校1～3年生	29人	0.0%	0.0%	10.3%	6.9%	6.9%	24.1%	24.1%	20.7%
小学校4～6年生	19人	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	5.3%	26.3%	21.1%	31.6%
中学生以上	10人	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	20.0%	30.0%	10.0%	20.0%
不明	6人	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	33.3%

	子どもの遊び場	子育て支援情報	企業による両立支援	保育料負担の軽減	中学生・高校生を持つ家庭の経済負担の軽減	その他	特にない	不明
全体	37.3%	6.8%	13.7%	28.5%	34.2%	6.1%	6.5%	5.7%
0～2歳	51.3%	6.6%	13.2%	48.7%	27.6%	11.8%	1.3%	0.0%
3～5歳	57.7%	5.8%	7.7%	34.6%	44.2%	7.7%	0.0%	0.0%
小学校1～3年生	62.1%	0.0%	3.4%	20.7%	55.2%	0.0%	3.4%	0.0%
小学校4～6年生	57.9%	0.0%	5.3%	10.5%	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%
中学生以上	40.0%	0.0%	0.0%	10.0%	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
不明	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%

(n=263)

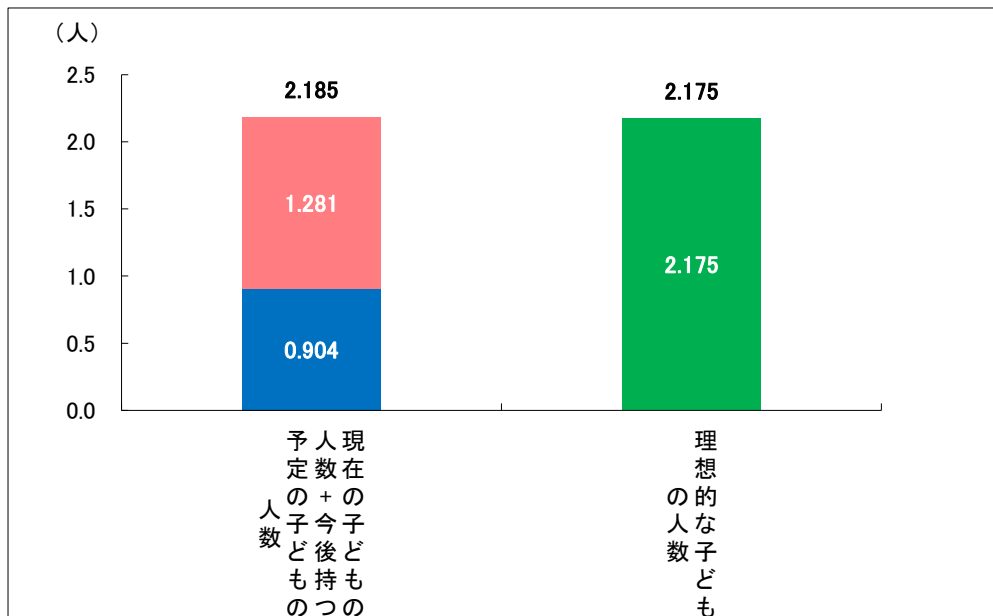
**問 25 あなたの将来計画において「今後持つ予定の子どもの人数」についてお答えください。**

今後持つ予定の子供数について、「2人（37.3%）」が最も高く、「1人（13.7%）」、「3人（7.6%）」と続く一方、「0人（28.1%）」は約3割を占める。今後持つ予定の子供の人数について、本アンケートでの一人当たりの平均は1.28人となっている。



(n=263)

問 20・現在の子供数の平均 (0.904人) と、今後持つ予定の子供数の平均 (1.281人) を足し合わせた値 (2.185人) は、問 19・理想的な子供数の平均 (2.175人) と同水準にあることが確認できる。

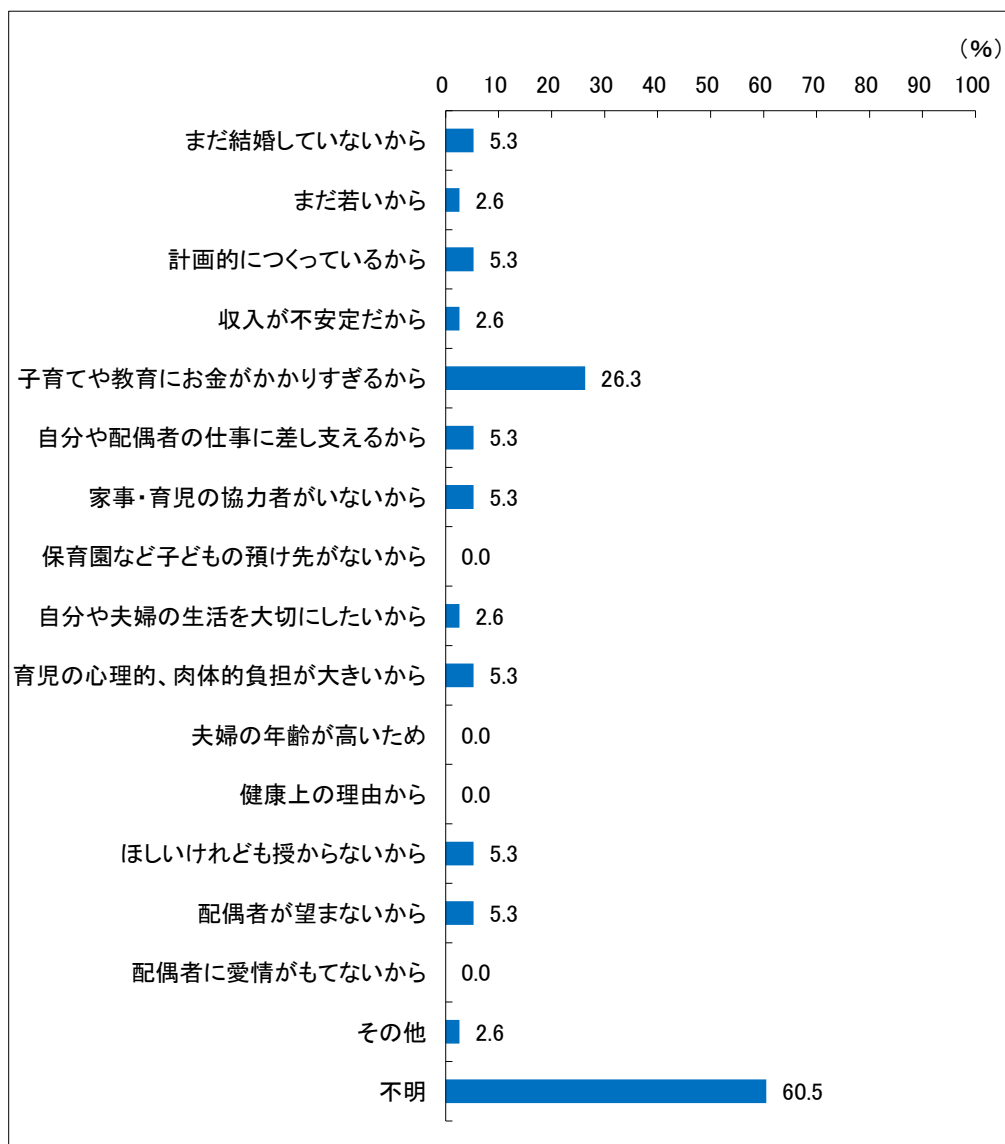


(n=263)

※ 次の設問は、問 19 の「理想的な子どもの人数」が、問 20 の「現在の子どもの人数」と問 25 の「今後持つ予定の子どもの人数」の合計より少ない方のみ回答してください。

**問 26 「あなたが理想とする」子どもの人数よりも、「現在の子どもの人数」と「今後持つ予定の子どもの人数」の合計が少ないのはどのような理由からですか。（2つまでに○印）**

理想とする子供数よりも実際の子供数（合計）が少ないとして、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから（26.3%）」が突出しており、経済的な理由に回答が集中している。

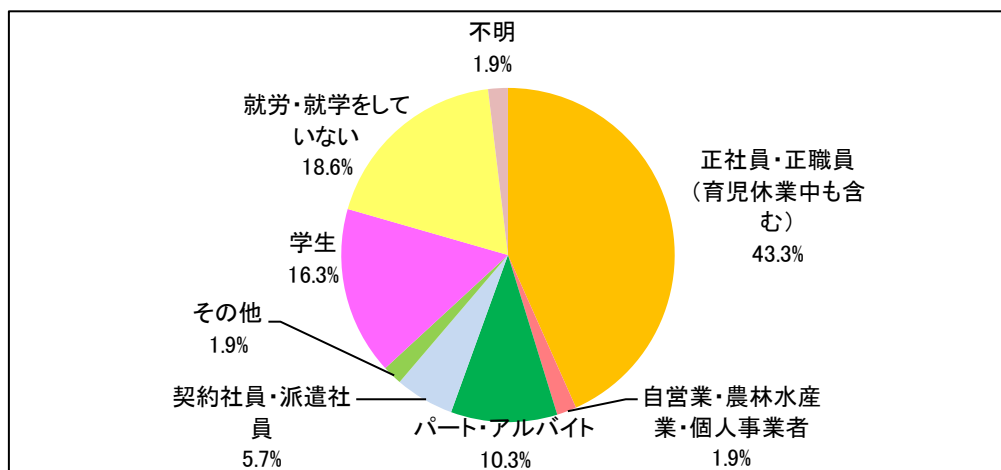


(n=38)

## 仕事と家庭の両立について

### 問 27 あなたはどのような職業に就いていますか。(1つに○印)

「正社員・正職員(育児休業中も含む)(43.3%)」が最も高く、次いで「就労・就学をしていない(18.6%)」、「学生(16.3%)」、「パート・アルバイト(10.3%)」となっている。

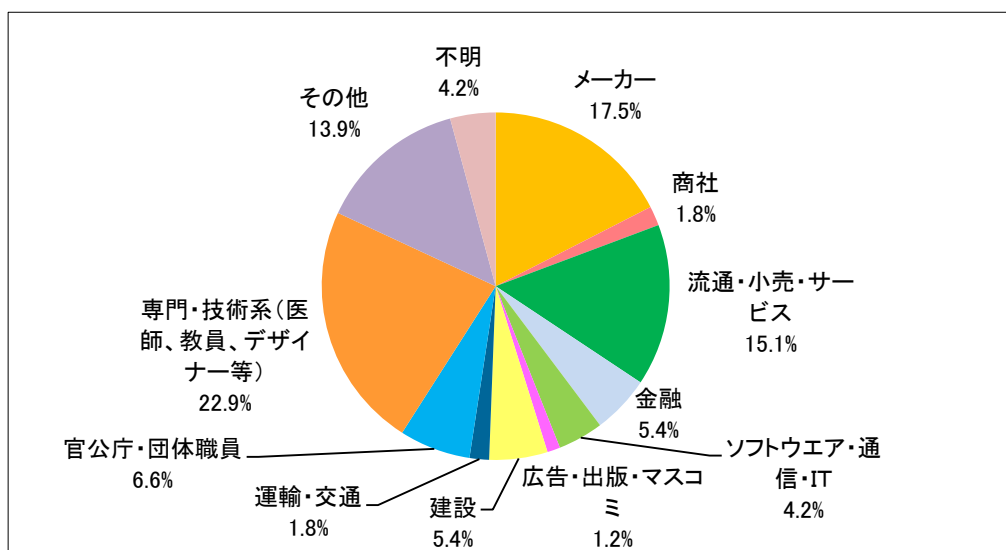


(n=263)

※ 次の設問は問 27 で「1 正社員・正職員」から「5 その他」を選択した方(働いている方)のみ回答してください。

### 問 28 あなたの仕事はどのような職種ですか。(1つに○印)

「専門・技術系(医師、教員、デザイナー等)(22.9%)」が最も高く、次いで「メーカー(17.5%)」、「流通・小売・サービス(15.1%)」となっており、第三次産業従事者が多い。

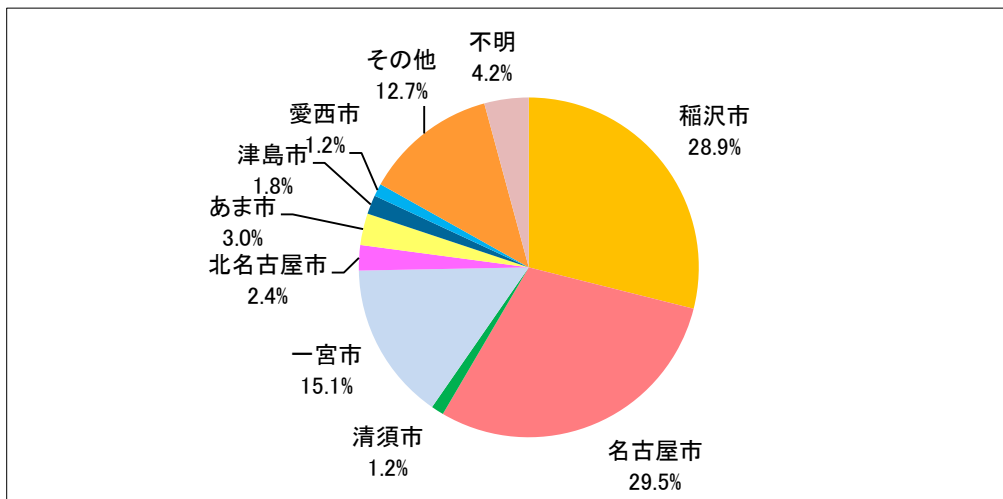


(n=166)

※ 次の設問は問 27 で「1 正社員・正職員」から「5 その他」を選択した方（働いている方）のみ回答してください。

**問 29 あなたの勤務先はどこですか。（1つに○印）**

「名古屋市（29.5%）」、「稲沢市（28.9%）」がそれぞれ約 3 割を占め、次いで「一宮市（15.1%）」が 1 割超となっており、約 7 割が市外で勤務している。

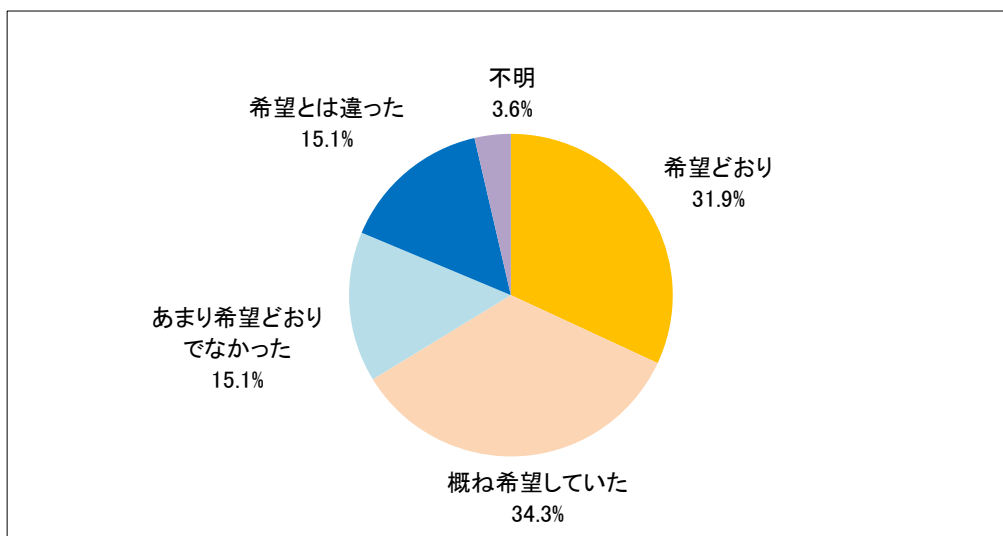


(n=166)

※ 次の設問は問 27 で「1 正社員・正職員」から「5 その他」を選択した方（働いている方）のみ回答してください。

**問 30 あなたの現在の職種や勤務先は、もともと希望していたものですか。（1つに○印）**

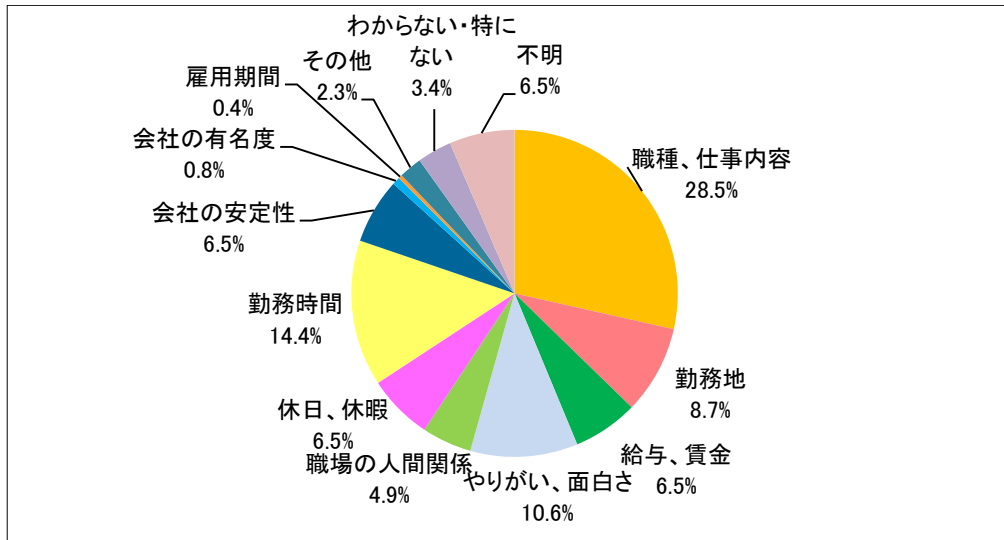
「希望どおり（31.9%）」、「概ね希望していた（34.3%）」を合わせて約 7 割となっており、回答者の多くが希望する職種に従事している。なお、「あまり希望どおりではなかった（15.1%）」、「希望とは違った（15.1%）」は約 3 割を占める。



(n=166)

**問 31 あなたが現在の仕事を選んだ際に、どのような点を重視しましたか。働いていない方は、今後、働くとしたら重視すると思うことを選んでください。(1つに○印)**

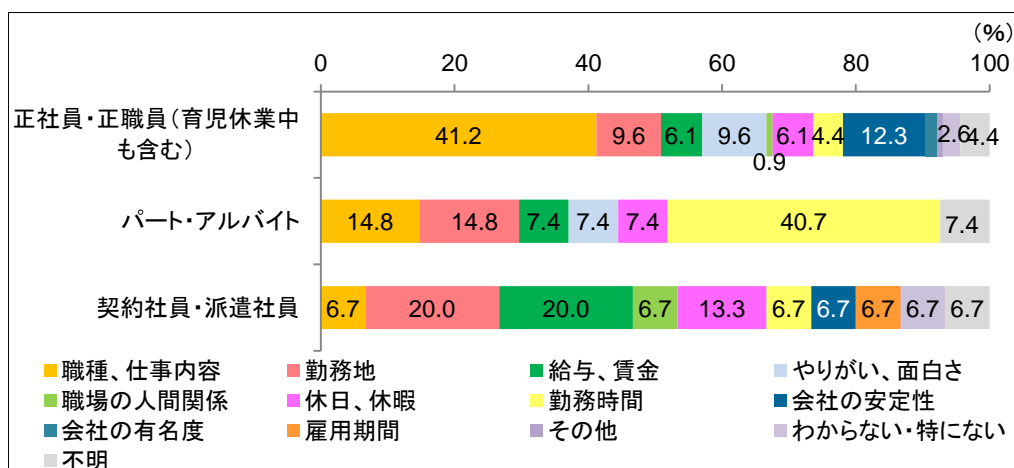
「職種、仕事内容 (28.5%)」が約 3 割を占めて最も高く、次いで「勤務時間 (14.4%)」、「やりがい、面白さ (10.6%)」となっている。



(n=263)

**【クロス集計結果：問 27 (雇用形態) × 問 31 (仕事選びで重視する点)】**

雇用形態別に回答結果を見ると、「正社員・正職員(育児休業中も含む)」では、「職種、仕事内容 (41.2%)」が約 4 割を占めており、他の雇用形態よりも割合が高い。また、「会社の安定性 (12.3%)」についても、他の雇用形態より重視する傾向にある。「パート・アルバイト」では、「勤務時間 (40.7%)」が約 4 割を占め、他の雇用形態よりも割合が高い。「契約社員・派遣社員」では「勤務地(20.0%)」、「給与、賃金(20.0%)」、「休日、休暇 (13.3%)」の割合が高く、同項目の割合は他の雇用形態よりも高い。

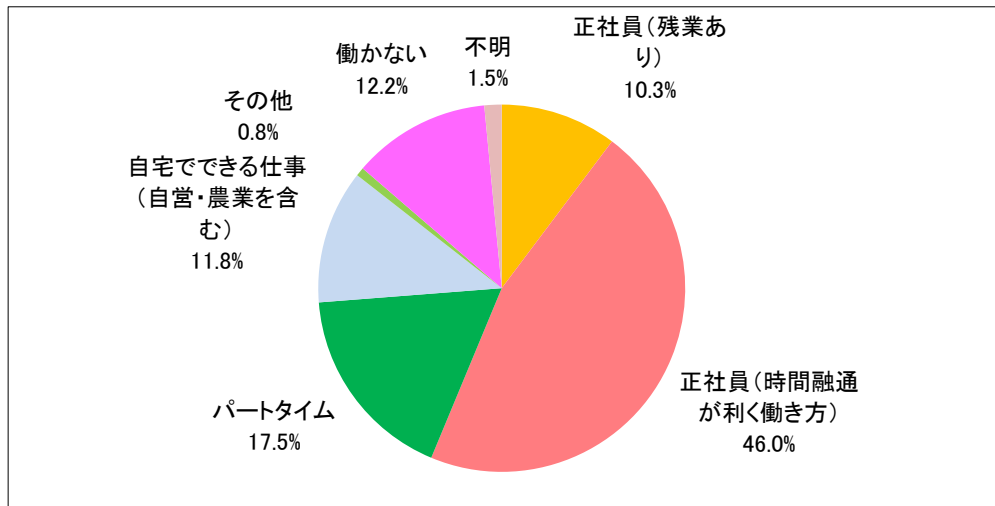


(n : 正社員・正職員 (育児休業中を含む) =27、パート・アルバイト=27、契約社員・派遣社員=15)



**問 33 あなたに未就学児等、手がかかる子どもがいたとしたら、どのような働き方をしたいと思いますか。(1つに○印)**

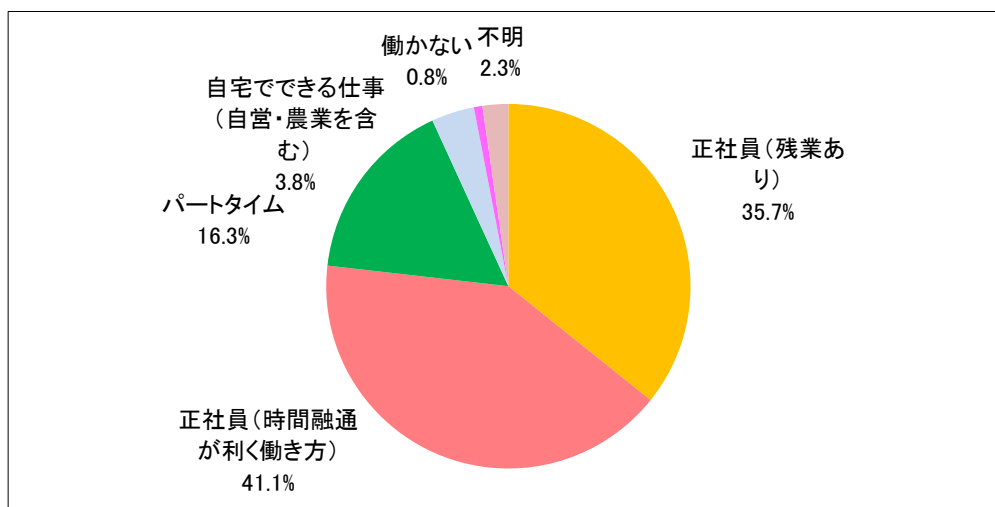
「正社員（時間融通が利く働き方）（46.0%）」が最も多く、「正社員（残業なし）（10.3%）」を合わせると、正社員は約 6 割を占め、正社員として働き続けたい意向を大半の回答者が有していることがうかがえる。なお、正社員以外では「パートタイム（17.5%）」が最も高く、次いで「自宅でできる仕事（自営・農業を含む）（11.8%）」となっている。一方、「働かない（12.2%）」も 1 割超を占める。



(n=263)

**問 34 あなたに中学生以上等、ある程度親の手を離れた子どもがいたとしたら、どのような働き方をしたいと思いますか。(1つに○印)**

正社員が約 8 割を占め、うち「正社員（残業あり）（35.7%）」が 3 割超と、手がかかる子どもがいる場合に比べて時間制約が少ないことから、仕事を重視する傾向が強くなっている。なお、正社員以外の働き方では「パートタイム（16.3%）」が最も高い。



(n=263)

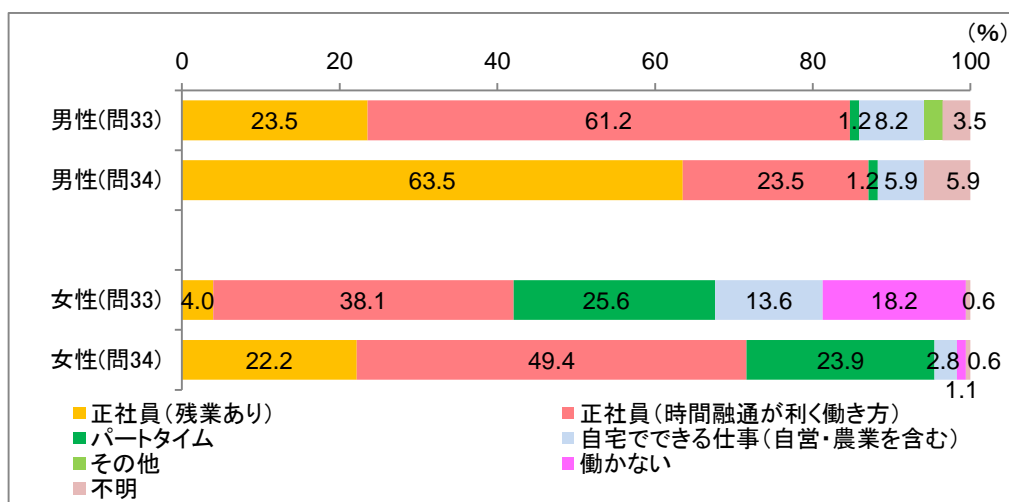
【集計結果比較：問 33（手がかかる子どもの場合）・問 34（親の手を離れた子どもの場合）】

男女別に問 33「手がかかる子どもがいる場合の働き方」の回答結果を見ると、男性では正社員を希望する割合が 8 割超となっているが、うち「正社員（時間融通が利く働き方）（61.2%）」を選択する割合が、「正社員（残業あり）（23.5%）」を大きく上回り、子育てに携わりたい意向が高いことがうかがえる。一方、女性では、「働かない（18.2%）」の回答は約 2 割を占めるが、何らかの形で働くことを希望する女性が約 8 割を占めている。なお、雇用形態では正社員が約 4 割を占めるが、「正社員（時間融通が利く働き方）（38.1%）」が「正社員（残業あり）（4.0%）」を大きく上回る。また、男性に比べて「パートタイム（25.6%）」、「自宅でできる仕事（自営・農業を含む）（13.6%）」を選択する割合が高い。

男女別に問 34「親の手を離れた子どもがいる場合の働き方」の回答結果を見ると、男性では正社員が 8 割超と、手のかかる子どもがいる場合と変わらないが、時間制約が少ないことから、「正社員（残業あり）（63.5%）」の割合が「正社員（時間融通が利く働き方）（23.5%）」を大きく上回る。また、女性でも、正社員を希望する回答が約 7 割と、手のかかる子どもがいる場合よりも高いが、「正社員（時間融通が利く働き方）（49.4%）」を希望する割合が「正社員（残業あり）（22.2%）」の 2 倍と、男性と異なる傾向を示しており、時間制約が少なくなったとしても、できるだけ子育てに携わっていききたい意向が強いことがうかがえる。

男女別に問 33 と問 34 の回答結果を比較すると、男性は、子育てによる時間制約に関わらず、正社員を希望する割合が約 8 割となっているが、内訳をみると「正社員（残業あり）」と「正社員（時間融通が利く働き方）」の割合が、手のかかる子どもがいる場合としない場合で逆転しており、子どもの手がかかるうちは積極的に子育てに携わっていききたい意向があることがうかがえる。

女性は、子どもの手がかかるうちは、できるだけ子育てに携わっていききたい意向が強く、正社員を希望する割合は約 4 割で、うち「正社員（残業あり）」は 4.0%と非常に低い。一方、子どもの手がかからなくなった場合には、正社員として復職したいと考えることから、正社員の割合は約 7 割となるが、「正社員（時間融通が利く働き方）（49.4%）」を希望する割合が「正社員（残業あり）（22.2%）」の 2 倍と、男性と異なる傾向を示しており、時間制約が少なくなったとしても、できるだけ子育てに携わっていききたい意向が強いことがうかがえる。



(n : 男性=85、女性=176 )